

第 13 回
市民と市長のタウンミーティング
報 告 書

○期 日 平 成 19 年 7 月 3 日

○会 場 吉祥寺西コミュニティセンター

武 蔵 野 市

ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」、「双方向」で地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。この会は、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が会の企画・運営方法について協議し、協働して開催するもので、原則として議会月（3月、6月、9月、12月）を除く年8回開催し、2年間で市内のコミュニティセンターを一巡する予定です。

このたび、吉祥寺西コミュニティセンターで第13回「市民と市長のタウンミーティング」を開催しましたので、その結果を報告します。

概 要

1. 日 時 平成19年7月3日(火)
午後6時30分～9時15分
2. 場 所 吉祥寺西コミュニティセンター
3. 主 催 武蔵野市・吉祥寺西コミュニティ協議会
4. 参加者数 98人
5. 主催側出席者 市長 邑上守正
吉祥寺西コミュニティ協議会委員長 望月京子
防災安全部長 堀井建次
環境生活部長 五十嵐修
子ども家庭部長 筒井敏晴
ごみ総合対策課長 渡部敏夫
交通対策課長 中村永司
道路課長 三輪博行
緑化環境センター所長 笠原 篤
6. 司 会 吉祥寺西コミュニティ協議会副委員長 鈴木昭彦
企画政策室市民協働推進課長 笹井 肇
7. 内 容
第1部 「みんなでつくろう 住民・商店一体のまち 吉祥寺西地区」をテーマとして意見交換を行った。
第2部 参加者にカードを配り、市政全般に関する意見等を記入していただいた。
そのカードを、第四期長期計画の施策の体系の分野(①健康・福祉、②子ども・教育、③緑・環境・市民生活、④都市基盤、⑤行・財政)に分類して模造紙に貼り出し、分野ごとに意見交換を行った。

目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1)開会のあいさつ	1
(2)第1部「みんなでつくろう 住民・商店一体のまち 吉祥寺西地区」を テーマとした意見交換(要旨).....	3
1. 安全・安心なまちづくり.....	3
2. 各世代の居場所づくり (ふれあい・学び・生きがい)	5
3. グレードアップしたまちづくり (風格あるまち吉祥寺)	9
(3)第2部 市政全般についての意見交換(要旨).....	12
①健康・福祉.....	12
・市長の発言.....	12
・介護ヘルパーの研修について.....	12
・ケアマネジャーの対応について.....	13
②子ども・教育.....	13
・市長の発言.....	13
・中高生の居場所について.....	15
・井之頭小学校の学童クラブについて.....	15
③緑・環境・市民生活.....	16
・市長の発言.....	16
・住宅困窮者への支援について.....	17
・「武蔵野ごみチャレンジ700グラム」について.....	18
④都市基盤.....	18
・市長の発言.....	18
・三鷹駅北口の開発について.....	20
・成蹊通りの計画について.....	20
⑤行・財政.....	21
・市長の発言.....	21
(4)閉会のあいさつ.....	23
2. 参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針.....	24
①健康・福祉.....	24

②子ども・教育.....	26
③緑・環境・市民生活.....	29
④都市基盤.....	34
⑤行・財政.....	42

— 付属資料 —

第13回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市長】

皆さん、こんばんは。お集まりいただきましてありがとうございます。平成19年も半分過ぎまして残り半分になりましたけれども、皆さん、どのような気持ちで過ごされていますでしょうか。まだ半分あるのか、あるいはもう半分しかないのか。市政は、4月から新しい年度で始まっておりますが、残り後半も精いっぱい頑張っていきたいと思っております。

さて、私が市長になりまして1年と9カ月たちます。市民の皆さんに多くの意見を聞いて市政運営をするという思いで、昨年1月からこの「市民と市長のタウンミーティング」を開催させていただいております。今までに12回ほど開催しまして、1回当たり100名ほどの参加をいただいております。都合1,200名程度の参加者があったかと思っております。今回は13回目ですが、市内には、16のコミュニティ協議会がございます。年内に1巡をするということで、その2巡目については未定ですが、1巡目のいろいろな成果をもとに、さらに意見交換の輪が広がられたらと思っております。

タウンミーティングについては、市役所が単独で開催する意見交換会ではなくて、地域のコミュニティ協議会の皆さんと協働して進めるということで、この間、吉祥寺西コミュニティ協議会の皆さんに大変お世話になりました。今日もまたこの場でさまざまな運営をお手伝いいただくこととなります。どうぞよろしくお願いいたします。

これから2時間半ほど皆さんとの意見交換をしますが、すべてのご意見にお答えをするというのは、なかなか時間的には厳しい面もございます。しかしながら、いただいたご意見については、市役所に持ち帰りまして、皆さんのご意見と市の考え方をまとめて、報告書という形で皆さんにお戻りするということになります。今まで、11冊できていますが、2巡目のときには、これをもとに、どの程度それぞれの意見交換の成果があったのか、実際に実現しているのか、実現しなかったのかというのを1つの材料として使っていただければと思っております。



本日も市役所の職員が何人か来ていますが、いただいた意見については、市役所の全担当課にメールで流しますので、このコミセンではこういう意見があったというのを各担当が全員把握することになります。間接的であるにしろ、市民の皆さんの声を職員が聞くことになっています。これは、市役所の中としては、非常にいいことですので、今後ともこの取り組みをぜひ進めていきたいと思っております。

これから、司会者から進め方の説明があるかと思いますが、前半は、主として、吉祥寺西コミセンがエリアとしている吉祥寺西地区を中心としたまちづくりについての意見交換をしていきます。後半は、そこに限らず、オール武蔵野市で、分野ごとにさまざまな課題、提案

第13回タウンミーティング
H19.7.3開催・吉祥寺西コミセン
開会のあいさつ

があろうかと思しますので、そこで皆さんが直接カードに書いて意見を言っただけという2部構成になります。いずれにしても、おおむね9時ぐらいを目途にまとめていきたいと思しますので、どうぞよろしくお願いいたします。今日は、参加いただきましてありがとうございました。

【吉祥寺西コミュニティ協議会委員長】

皆さん、こんばんは。吉祥寺西コミュニティ協議会の委員長の望月と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

雨が降らなくてよかったと思っております。朝起きてどうかなと思いましたが、いまだに降ってまいります。お帰りのときまで、雨が落ちてこなければいいと思います。最後までよろしくお願いいたします。



前半のほうのこの地域のテーマを決める前に、吉祥寺西コミュニティ協議会の運営委員や、地域の団体の方が集まって意見交換をいたしました。吉祥寺西福祉の会や、本町シルバー会、一小・井之頭小の青少年問題協議会、中道商店街や防災推進員、主任児童委員、美化推進員、クリーンむさしの方などに集まっていただきまして、地域の問題を真剣に考えました。そしてテーマを決めました。この話し合いがとてもよい交流になりまして、終わってから、この会はとてもよい、またぜひこの会をやってほしいというような声も出ましたので、これをきっかけに、またこのような交流会をしていければなというように思います。

今日は、皆さんの住んでいる地域の問題などについて、限られた時間ですが、どんどんご活発に意見を出していただきまして、この会を盛り立てていただきたいと思っております。それでは、どうぞよろしくお願いいたします。

(2) 第 1 部「みんなでつくろう 住民・商店一体のまち吉祥寺西地区」をテーマとした意見交換 (要旨)

1. 安全・安心なまちづくり

【ご意見】

私は、防犯カメラの具体的な設置場所については知らないが、ムーブスの吉祥寺北西循環を利用すると、この地域から成蹊の裏まで回るのだが、夜間になると真っ暗な状況で、ムーブスもバス停がようやく見えるような箇所がいっぱいある。この西地区も、マンションが立ち並んでいるので、その影のところは以前の住宅街よりはずっと暗くなっている。防犯カメラの設置を考えているならば、防犯カメラの電源を利用して使えるような省エネルギーの街灯もあるので、ぜひ、防犯カメラと街灯をセットで1度に設置をしていただきたい。

【ご意見】

私は、一人暮らしのお年寄りの万一のときの安全が気になっている。いざというときの助け合いのネットワークをなるべく早くつくりたいと、市民社協も地域社協も同じ気持ちで動いているが、なかなかマン・ツー・マンで、ひもをつけてやるところまでは行っていない。この地域でもまだそこまで行っていない。それをまず我々自身がつくっていくことが大事である。また、一人暮らしのお年寄りが何人か集まって一緒に暮らす小規模の共同住宅、いわゆる



認知症の方のためのグループホームに似たようなもので、最近、グループリビングと言って、都内でもいろんなところでできているが、武蔵野市にはない。この近くでは、世田谷区や、小平市の御幸町プロジェクト等の事例があると聞いている。市内で、地域社協は 13 カ所、13 団体あるが、その地域社協の主な活動の 1 つの大きな柱としてこれをつくることはできないか。施設は、できたら公設で、その運営を市民社協が中心でやる。公設民営方式のグループリビングを市内全域に張りめぐらせて、特に一人暮らしのお年寄りの安心・安全を守っていききたい。市にも、ぜひそういう意味でご協力をいただきたい。

【ご意見】

地域社協の先月の代表者会議で、災害時の要援護者支援対策を市が立ち上げられることを聞き、ありがたいと思う。地域社協もできるだけお手伝いしたいと思う。それとは別に、私どもは、吉祥寺西公園で、平成 16 年から毎年、防災まつりをやってきて、訓練をいろいろしてきた。そのときに、見学に来た方がおっしゃったのだが、第 1 避難所は第一小学校のはずだが、第一小学校に大勢の人が集まったとき、吉祥寺西公園にどうやって運ぶか、みんなで検討し合っているのかと聞かれた。なるほどと思い、第一小学校に行って教頭先生にお会いした。教頭先生に、この地域のいろんなグループで 1 回話し合いをしたらどうだろうか伺ったら、小学校には、こういうマニュアルがあるから、これを見てくれればいいと言って、マニュアルを見せてくれた。それにはボランティアがどうするとか、こうするとかいろいろ

書いてあった。ぜひ防災安全部長に音頭を取ってもらって、ここの地域社協・コミセン・青少協など、この地域の方たちを集めて、年に1回、みんなで日頃から話し合っていたら、少しは慌てないかと思う。吉祥寺本町2丁目から4丁目まで、約9,800人が住んでいるので、その3分の1の2,000人が集まっても大変なことになると思う。是非、年に1回話し合いの会を防災課が中心になって呼びかけてやっていただきたい。

【市長】

安心感を生むために、人通りが少ないところではもっと明るくしてほしいということですが、暗いところは、具体的な場所を市にお伝えください。街灯の設置を検討します。なるべくそういう暗がりのないまちをつくりたいと思います。街灯の照明の照度アップをずっとしており、ほぼ市内一円できたのかと思います。以前と比べると、かなり明るい街角になっていますが、まだまだそういう暗いところを見過ごしているところもありますので、ぜひそういう場所は教えていただきたいと思います。



防犯カメラについては、なかなか取り扱いが難しく、吉祥寺の商店街では、サンロードやダイヤ街など、商店街単位で設置され、商店街の振興組合の場所には防犯カメラを見る、あるいは、録画をする機能を持っているところがあります。しかし、住宅街ですと、プライバシーの観点から、人の家の前を写すということが、なかなか難しい面もあります。とりあえず、街灯の照度アップということで、まちを明るくするということが1つなのかと。防犯カメラについては、地域全体の理解がないと導入できませんので、例えば、自治会等で統一の見解ができれば、共同でつくることも、設置することも可能かと思えます。ただ、現在の補助制度をいろいろ調べてみますと、商店街などにはありますが、一般の住宅地にはそういう補助制度がないといった課題もあります。また、地域でお話をいただきまして、その必要性については大いに議論をして提案をいただきたいと思えます。

次に、一人暮らしのお年寄りをどうやって守っていくのかということですが、現在、災害時の要支援者をどうやって守っていくかと市として取り組みを始めています。特に、どういうところにどういう方がお住まいかということ把握して、いざというときにその名簿をもとに行かないといけません。ただ、個人情報の問題があり、すぐにオープンするわけにはいかないので、市役所で丁寧に整理をしています。生活福祉課と防災課が連携をとって、共同のプロジェクトチームをつくり、皆さんにもどういう形でそれを提供して、地域と市役所が連携をして取り組みができるかを今年度具体的に進めていきますので、その際にも、いろいろご意見をいただきたいと思えます。

グループリビングについては、まだ武蔵野市にはないようですが、他市の例を見ると、お互いに家を共同で住もうということで取り組みがあるようでして、1つの新しいやり方ではないかと思えます。現在、それを具体的に市が率先して支援をしていく考えはありませんが、1つの居住のスタイルとして、今後、大いにあり得るのではないかと思えます。介護が必要

になった場合、例えば、グループホームという取り組みがありますが、そうではなくて、健康な高齢者でお互いに住もうということも、1つのやり方ではないかと思しますので、今後とも研究をしていきたいと思ひますし、どこかで皆さんがその事例となるようなものが先にできると、市役所としても支援の取り組みがやりやすいのかと思ひます。

防災については、市で、さまざまな地域での訓練を支援しています。ただ、その防災訓練は、基本的には地域の方が主体となってやらないとなかなか実際的ではないのかと思ひますので、これはあくまでも支援という形でお手伝いをしているところです。防災訓練だけではなくて、会議を開いたらどうかということとして、訓練をやる前には、それぞれの方に集まっていたいてどんな訓練をするかを事前に相談をしていますが、日頃からのそういう話し合いの場がありませんので、ぜひこの地区でも、防災に関心のある皆さんに集まっていたいて、確認の意味でそういう会議をこれから設けていただけたら、市としても支援をしたいと思ひます。



【防災安全部長】

要援護者の問題については、これから取り組んでいきたいと思ひます。ただ、重要なのは、要援護者を把握するというと同時に、要援護者を助けることのできる人を増やしていただきたいということです。幾ら把握しても助ける人が増えない限り、ただ知っていたというだけで終わってしまいますので、助ける側の人を増やしていただきたいということをお願いしたいと思ひます。

2点目の防災に関しては、学校、とりわけ、避難所になる学校での運営組織についてのご提案、ありがとうございます。現在、境南地区では、これが進んでいまして、数カ月に1回、防災懇談会という名称で、各PTA・青少協・防災推進員・自主防災組織・コミュニティセンター等の方々が集まっています。また、今年度も7月末に、実際に子どもたちを学校の体育館に集めて宿泊をさせる訓練を地域で実施される予定です。各地域それぞれの特性もありますので、市としては、一定のルールを決めて、各地域でというようなことは考えていません。ただ、どこかのところから、ぜひ声を上げていただいて会議ができるようであれば、市の防災課で全面的に支援をさせていただいて、人も出しますし、物も出していききたいと思ひます。

2. 各世代の居場所づくり（ふれあい・学び・生きがい）

【ご意見】

このコミセンでは、1階に井之頭小学校の学童保育室があって、親が共働きをされている子どもさんたちが40人ぐらい、学校が終わった後に、ここに通っている。コミセンとしては、そういう子どもがいると、お年寄りと一緒にあいきつをするとか、いろんな行事を一緒にやるかといういい面もあるが、このコミセンは中型で、この会場（地下1階プレイルーム）と同じぐらいのスペースが学童保育にとられているので、オープンスペースが少ない。プレ

イルームは、机も何も置かないで、鏡の前で若い人たちが、ダンスの練習をやるとか、卓球をやるとか、朗読の練習をやるとか、自由に来て活用できるスペースである。このコミセンでは、年間、分館を除いて約4万人利用するうち1万人はこのスペースを利用している。それだけオープンスペースというのは、いろんな世代で使われているが、フリーでぱっと来て、机に何人か集まっていろいろ話をするといいスペースがほとんどない。2階に一部あるが、そこにはせいぜい机が2つぐらいしか置いてない。地域のコミュニティをつくるためには、そういうスペースが必要であり、学童クラブは、井之頭小学校の中へ移していただきたい。子どもも井の頭通りを渡るという危ない面もあるので、ぜひ実現してもらいたい。その際に、ちょっとしたキッチンをつくっていただくと非常にいいので、考えていただきたい。

【ご意見】

私も吉祥寺西コミセンの狭いところに入っている学童クラブをぜひ井之頭小など学校内に入れていただきたい。5～6年前に一小も学校内に入ることができ、学校や、あそべえとの連携、また、広い校庭で子どもたちも思う存分遊べて大変子どもにとっていい状態である。私の孫も2人とも、学童クラブに入っているが、クラスの友だちとも遊べる。それを考えると、井の頭こどもクラブのお子さんは大変お気の毒で、危ないところを通ってきて、狭いところで、近所に文句を言われながら、室内で遊んでいて、本当にかわいそうだと思うので、ぜひ子どもの成長のためにも学校内に入れていただくようお願いする。空いたスペースを、地域のお年寄りの居場所とか、幼児の方の集まりとか、そういうところに使わせていただければいいのではないかと思う。

【ご意見】

私は、泉幼稚園の跡地について、ぜひもう少し進んだお話を、市長から聞けるのではないかと期待して参った。先日、子ども家庭部長より、保育園が足りない、待機児童が50名以上いるという旨の説明を伺った。そこでの話の内容というのは、中高生を中心とした学生の居場所、学童クラブ、0123、あるいは、高齢者も含めた世代間交流ができる複合施設ということを念頭に会議を2回ほど開いてきたが、突如、保育園という話を伺い、私たちも一体どのようにそのようなことが急に出てきたのかということ子ども家庭部長に伺ったのだが、その後、私どもは、その話を聞いて、とりあえず7月いっぱいはその答えをお待ちするというような形ではあった。たまたま今日、7月3日、市長とのタウンミーティングという会合になったわけなので、その後に、市の理事者との話し合いもあったことだから、その後の途中経過でも構わないし、もし最終的にこうなったというふうにおっしゃっていただければ、私どもは、その後の会議の進め方がまた違ってくるので、前向きなご決定をお聞かせいただきたい。

【ご意見】

今日、初めてタウンミーティングに参加させていただいて、話し合いのテーマの中に学童クラブを学校内にとというのが1項目として入っているので驚いた。私自身、今、子どもが3年生で学童クラブに通わせていて、この吉祥寺西コミセンには非常にお世話になっている。この前、西久保コミセンのときのタウンミーティングの議事録を読んで、あれっと思ったのが、やはり五小の学童クラブが西久保コミセンにあって、その移転をお願いしていると。そ

の理由が、学校とコミセンが非常に遠いので危ないということ、を、主な理由として挙げられていて、親として子どもをこちらのコミセンで非常にお世話になっている中で申し上げにくい、ちょっと違うのではないかと思う部分があった。

子どもがどういうふうにも心も体も健全な発達をしていくかということを考えてときに、学校の先生との連携をどうとっていくか、子どもが広いところで、ストレスなく体を動かしていくという時間をどう確保していくかが重要だと感じている。そうした中で、どうしても吉祥寺西コミセンだと、その裏庭で遊ぶにもいろいろ近所の方からご意見があり、なかなか難しいことがあるので、子どもはストレスを感じているのではないかと思う。実際、そのストレスを感じている部分による事故的なことなども見聞きしたりするので、長期計画ではなく、もっと早急に校内への移転を考えていただければ、父母あるいはその子どももハッピーだし、コミセンの皆さんもさらにより有効な活用ができるのではないかと、ぜひその辺を早急に進めていただくことを市長にお願いしたい。

【ご意見】

これまで、地域でやってきた話し合いを尊重してよいものをつくっていただきたい。私は、全部の話し合いに出て、時々発言をさせていただいている。最初のミーティングに出るときに、子育て中の親から高齢者の方までさまざまな立場の方が、各団体の利益代表の意見で、ばらばらになってしまってもまらないのではないかという危惧があった。ところが、実際に話し合いに出てみると、その心配は全く無用であった。私は、子育て中の親として、小学生、学童、中学生、あるいは高校生にこういうことがあってほしいのではないかということをお話しすると、もう既に子育てが終わっている地域の方も自分のことのようにお話を聞いてくださる。これは大変ありがたいと思った。



それだけではなく、例えば、青少年の居場所がないということについても、高齢者の方の中には、青少年の場ができてしまうと、高齢者の方の活躍、活動できる場が少なくなるかもしれないが、それでも構わないというご意見が出たことには大変驚いた。その中には、自分の権利を言うだけではなくて、いろいろお互い譲歩して、狭い土地を有効に活用してお互い協力していこうという機運をすごく感じた。そこで、地域の中に相互理解、協力という体制が芽生えているので、その力が生かされるような施設、一部の利益に偏ることなく、みんなが協力できる施設をぜひお願いしたい。

【市長】

学童クラブについては、基本的に、私は学校移転すべきと考えています。学校の広い校庭は魅力的ですし、地域子ども館あそべえがありますので、同じ学校の子どもたちがそれぞれ分かれて放課後を過ごすのではなくて、もちろん、学童クラブとあそべえは全然事業が違うので、きちんと別に設けないといけないと思いますが、遊ぶ時間は、いろんな面で共有すべきことが多々あるので、学校移転は、ぜひ進めていきたいと思っています。

現在、武蔵野市内の学童クラブで、学校にない学童クラブが4つほどあります。井の頭こどもクラブ・五小こどもクラブ・境南こどもクラブ・本宿こどもクラブです。いずれにしても、校内移転を積極的に進めたいという思いで、具体的に学校に申し入れをしました。話し合いも始めています。井之頭小の学童クラブについても、校長先生と、担当レベルで話し合いを進めています。学校もこれからいろんな取り組みを予定しているところもあり、一度には行きませんが、話し合いの場にはだんだん増えてきたのかと思います。

学童クラブをコミセンから追い出すという表現はぜひやめていただきたいのですが、コミセンからいなくなるとそこが利用できるからいいということではなくて、学童クラブがやはり学校に行くと大いに有意義であるということを第一義的に進めていきたいと思っています。学童クラブが移転をすれば、コミセンで新たなスペースが生まれますので、その段階で初めて議論をいただきたいと思っています。移転前に何に使いたいからということではなくて、まずは学童クラブを学校に移転して、その後、移転された後に大いに皆さんで利用方法を検討いただきたいと思っています。去年は、四小の学童クラブが、水害の件もありまして、吉祥寺北コミセンから四小の校内に移転することができました。そのあとのスペースについては、コミセンの皆さんがいろいろ工夫をされているようですので、そういう方向でぜひ進めていきたいと思っています。



泉幼稚園については、今日、大きな課題になるのだろうと心して参りましたが、結論から申しますと、まだ決断していませんので、もう少し地域の皆さんと話す場が必要かと思っています。去年、泉幼稚園がなくなりまして、その跡地については、幼稚園としてもう何十年もあの地であったわけですから、何とか子どもに関する施設として利用したいという思いで用地の買収を手がけました。同時に、地域の皆さんからも、さまざまな地域の居場所として、例えば、高齢者から子どもたちの居場所が欲しいという趣旨の陳情をいただきまして、議会でも採択をいただいているところです。

私としては、現在、調整計画を策定していますので、その中で議論をして、大きな位置づけをしたうえで、具体的な施設づくりをしていけばいいのだろうと去年までは思っていました。しかし、保育園の待機児が昨年までは、せいぜい40人台だったのですが、今年度は55名という多くの待機児が出てしまいました。しかも、認証保育所など、余裕があったところもすべて定員が埋まった状態で、かつ、待機児が55名出てしまったということがありまして、緊急対策として、その待機児を少しでも減らしていこうという取り組みが必要になりました。役所の中にプロジェクトチームを組んで、どうやったら待機児が減っていくのだろうかということを議論していますが、やはり一定の保育園を確保して、そこで人数を確保しないと待機児はなかなか解消できないと思います。今、想定される子育て支援に使えそうな土地の1つとして泉幼稚園跡地があるということで、この可能性を市としては検討を進めているところです。皆さんからのご要望も部長からきちんと伝わっていますので、そういうことも踏ま

えながら、もう少し意見交換をしていきたいと思います。

ただ、現在、井之頭小の学校区の中には、幼稚園も保育園もなくなっています。地域の動向として、JRの社宅の跡地、横河の跡地等で、新たな住宅開発が起きてくるようなときに、人口としてやや若い世代も増えてくるのではないかと思うので、やはりこの地域で、保育園なり幼稚園なり、子育て支援施設的なものが必要だという認識を持っています。待機児をなくしていく方策は全市を挙げての方策ですので、その兼ね合いを含めて、もう少し庁内でも議論をいたします。また皆さんともそういう意見交換の場ができたと思います。

3. グレードアップしたまちづくり（風格あるまち吉祥寺）

【ご意見】

税務署の角から井之頭小のほうへ抜ける道のガードレールについて、普通、人が歩いているときは、自転車は外を走るようなルールになっていると思うが、私が歩いているとき、平気でわざわざガードレールの中に突っ込んで来る自転車があり、とても危ない。そのような乱暴な自転車の防止をもっと徹底していただきたい。それから、吉祥寺駅前のサンロードとか、自転車は危ないから、自転車から降りて引いて歩こうと看板が出ているが、それに気がつかない人が多いらしく、平気で突っ込んで来る人が多い。三菱東京UFJ銀行の隣に案内所があるので、たびたび危ないから、何とかもう少し徹底して放送するなり、何なりしてほしいと言ったが、一向に何もしていない。それから、ガードレールの中を私が歩いているとき、後ろからベルを鳴らさず自転車が走ってきて、何回かひっかけられそうになりとても怖い思いをした。

また、吉祥寺西公園には、芝生があり広くて子どもさんが遊んでいるのはいいのだが、不心得な人がいて、犬を連れて中へ入り込んで、おしっこや、フンをさせていく人がいる。私も何回かお使いに行っているときに、気になったのでじっと見ていたが、人が見ていると逃げるように去っていく。市役所の係の方にも、こういう状態で困るじゃないかって、もう少し管理を徹底されたらと言ったのだが、公園が100カ所以上もあるので、一々そんなところには構ってられないというお返事だったのでがっかりした。もう少し徹底して、みんなが住みよくきちんと、きれいなまちでありたいと思う。



【ご意見】

住みたいまち、いつも上位にランクされている吉祥寺だが、残念なことに容積率・建ぺい率が昔とほとんど変わらず、住みたいのだけでも、長く住めない状況をつくっているのではないかと思う。容積率が200~300%、建ぺい率が50~60%の地域では、二世帯住むのは非常に苦しい。ましてや三世帯住むには、とてもその容積では住めない。これだけ住みたいまちであるのなら、吉祥寺の地域の容積率・建ぺい率を緩和していただき、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、子どもと、三世帯ぐらい住めれば、みんなばらばらにな

らず、1つのところで生活できるかと思う。容積率や建ぺい率が悪いため、ほかに引っ越さなくちゃいけないとか、そういうことが発生する可能性が非常に高い。なおかつ、高い固定資産税や、住民税などを払うために、もう少し容積率があれば、賃貸にすることもできる。そうすると、それも貸すことによって賃収が入り、それも税金に回せるとか、長く吉祥寺に住むためには、やっぱりその辺のところを何とか早目に改善していただきたい。

【市 長】

自転車のマナーについては、市内でもいろんなところでマナーが悪いぞと、皆さんからご意見をたくさんいただいています。市としても、自転車問題の中で、駐輪場の確保も大きな課題ですが、もう一つは、自転車の乗り方のマナーアップをどうしたらできるのかということで、昨年も自転車安全利用促進検討委員会をつくりまして、どちらかという、その当事者になりがちな若者、大学生や高校生もご参加いただき、議論をしてもらいました。いろんなアイデアが出てきたので、市としてどういうルールや規制等ができるのか、整理をしているところです。それを大いにキャンペーンにしていくということと、それから、取り締まりで罰金等については、警察の範疇になってきますが、警察も自転車対策をかなり積極的に進めていますので、警察とも連携をしながら、マナーアップをしていきたいと思えます。



現在、武蔵野市では、交通事故の半分は自転車に関する事故で、しかも高齢者が増えています。高齢者の皆さんの事故の原因の多くは、自転車に関連していますので、これは大いに課題として取り組んでいくべきであると思えます。それから、自転車利用をもっと安全にということでは、例えば、講習会とかでそれを徹底する。講習会を受けたらそういう認定証を渡して、その認定証を持っていると駐輪場も優先して使えるとか、何かメリットのある連動をしていくような取り組みもアイデアの中にありますので、研究していきたいと思えます。いずれにしても、自転車は、これは、使うのではなくて、できれば、車にかかわって使っていただきたいと思うので、自転車の走行環境も、同時に考えていくべきではないかと思えます。

容積率を上げてほしいというご要望については、なかなか難しいかもしれませんが、建ぺい率 60%・容積率 200%の商店街ですから、近隣商業地域などの用途地域になっていますでしょうか。その建ぺい率・容積率ですと、通常であれば、3階建てぐらいは可能なところですよ。おそらくいろんな条件で、例えば、前面道路の幅員が狭かったり、あるいは、後背地が住宅地で影を落としてしまうので、高く建てられなかったりというようなことで、おそらくその場所では3階が難しいのかと思えますが、容積率アップというのは、個々になかなかできない話なので、全体の中で、例えば、その近隣商業地域はどのような土地利用をこれから目指していくのかという大きくビジョンを描いて、それになったような形で再検討をする必要があります。

ある程度の大きさのある街区の場合は、地区計画という手法を使って一定の規制をすると、容積は若干プラスをするという手法はありますが、近隣商業地域ということになりますと、

かなり目いっぱい容積率を使っているのではないかと思いますので、一概に増やせるとは、今の段階では言えません。

ただ、商店街でもその商売だけで夜は人がいないのではなくて、できたら、商店街の上にはお住まいになっていただいて、常に人目があるような、人の気配があるような、人が住んでいる商店街というのがふさわしいのではないかと思いますので、今後ともちょっと研究をしていきたいと思います。

【ご意見】

今のお話だが、商店街ではなくて、住宅街に皆さんが住みたがっているので、吉祥寺については、住宅、商店街は関係なしに、容積率を少しでも緩和できれば、三世代住むことも可能かなというお願いである。住宅街でも容積率が足りないから若い人は出ていく。そんなことが核家族化している原因ではとも思うので、商店街にかかわらず住宅街のほうもぜひお願いしたい。

【市長】

ご意見として聞いておきますが、ただ、その住宅街というのも、片や豊かなゆとりある住環境を求められている方も多々いらっしゃいまして、建ぺい率を増やしていくと、その分、庭が狭くなって、緑が減ってくるということもありますので、その辺でどうバランスをとったらいいのかなという課題があるかと思います。

いずれにしても、住みたいまちであるのですが、なかなか住めない。住めないのは、家賃が高いのが主な理由となっています。ただ、行政として、家賃を下げろだとか、土地代を下げろだとかは、なかなか難しい話ですが、皆さんとこれからもどうしたら今後とも住み続けていけるのか、三世代にわたって住めるのか議論していきましょう。

(3) 第2部 市政全般についての意見交換（要旨）

1. 健康・福祉

【市長】

シルバー人材センターについては、中央コミセンの裏にあります。手狭である、老朽化している、場所がわかりにくい等々の課題がありますが、今後、ランチ（支所）も含めて、施設の場所、規模等も見直していければと思います。

高齢者の居場所について、高齢者の皆さんにはコミセン等で様々な催しをしていただいています。なかなか部屋がとれないという課題もあります。居場所という点では、地域社協の拠点もないといった課題もいただいています。コミセン・市役所等の公的な施設を利用いただくということと、この時間帯はこの場所が空いているということがわかるように情報の一元化ができればいいと思います。



地域社協（地域福祉活動推進協議会）の活動については、市民社協（武蔵野市民社会福祉協議会）のほうで、地域福祉事業として、支援を進めていただいています。地域によって様々な取り組みがなされていますので、市としては、一方的に押し付けをせず、お願いしたいことを幾つか言うぐらいにとどめ、自主的な対応を尊重すべきであると思います。

感染症対策については、保健推進課で把握に努めており、例えば、新型インフルエンザ等は、府中の保健所から情報収集を行っています。市長・保健所長・警察署長・消防署長・消防団長をメンバーとする「生活安全会議」を定期的に実施して、その中でも情報収集していますので、必要な対策をそのときに、それから講じていくということになります。

（参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については24ページをご覧ください。）

1. 介護ヘルパーの研修について

【発言意見】

介護に携わる若い人は、高齢者の気持ちや立場をよく理解していないと思う。やりとりがあまりにも若者的であったので、介護を受けた高齢者は、かえって体調を崩してしまったという例がある。若い人は、高齢者と一緒に住むということが最近少なくなってきた。心も体も弱くなった人への話し方や、対応に慣れていないので、市で研修の場を設けて、質のいい、細やかな、受ける側にとって満足いく優しい介護をしていただきたい。

【市長】

ヘルパーについては、それぞれの研修の場がありますが、若い方は、人生経験が浅く、初めて高齢者の方と対応するような場合もあって、難しい面がありますが、受ける側の気持ちを理解したうえで介護ということ研修でも徹底していきたいです。今週末から介護保険課長になる予定の司会の市民協働推進課長からも、一言どうぞ。

【市民協働推進課長】

武蔵野市は、全国で初めてケアマネジャーガイドラインをつくり、また、高齢者総合センターの中にケアマネジャー研修センターをつくって、ケアプランの作成の指導も含めてケアプランチェックをやっていきます。質の高いサービスを提供するために、今まではケアマネジャー中心の仕組みをつくっていましたが、今度は、ホームヘルパー等への研修も各事業所まかせですのではなくて、例えば、ホームヘルプのガイドラインを検討していく必要があると考えています。いずれにしましても、皆さんの関心が、サービスの量よりも質の問題へ移っているということは認識しています。

2. ケアマネジャーの対応について

【発言意見】

昨年、母が認知症で亡くなったが、肉親とケアマネジャーとの意見の違いで、つらい思いをした。母の娘が何人かいて、施設にやりたい、家に引き取りたいなど、意見の違いがあり、ケアマネジャーに、母が具合よく過ごせるよう意見を調整してもらいたかったのに、ケアマネジャーが、仕事がスムーズに行くというほうを優先して、もめる原因になってしまった。母が倒れたときに、私が行こうとしたら、ヘルパーが来るから、遠慮するよう言われた。そのケアマネジャーは、施設に入れたいと言う娘の側について、在宅で介護するための支援をしてくれなかった。母は私の家に来たいという意思表示していたにもかかわらず、杓子定規に、個人では無理で専門家がいるからという形で言われた。

【市長】

ケアマネジャーは、家族の皆さんのいろんな意見も聞きながら、その該当者の方が最善の介護を受けるにはどうしたらいいかを判断しているはずですが、それが家族一人ひとりの意見と合わないというケースがあります。本来であれば、十分に納得していただいたうえでの介護という形にしないといけないのですが、その辺にまだ課題があるのかもしれない。



2. 子ども・教育

【市長】

タウンミーティングについて、各コミセンとの共催による開催が終わった後、2巡目をどうするかは、これから計画をしたいと思いますが、テーマごとにやりたいという声もいただいています。例えば、商店街の皆さんからは、商店街についてやりたいというお話をいただいていますので、テーマ別にこれから開催したいと思います。

学童クラブの校内移転については、積極的にアプローチしています。学校施設ということで、すぐにはいかないんですが、鋭意努力をしていきます。

保育園の設置については、いろんな場所を提案いただいています。働く人のことを考え

ると、駅に近いところが便利ですので、市が幾つか抱えている土地も含めて、具体的に土地利用が決まっていないところも結構あるので、検討していきたいと思います。

小中学校の校庭の芝生化については、賛成・反対双方の意見が出ていますが、市内に占める、学校の面積はかなり大きいです。公園や緑が増やせない中で、学校の敷地を緑化するのは、環境的にもいいと思いますが、学校側からすると、維持管理が大変であること、一定期間利用できなくなってしまうこと、授業に使える部分も出てくる等の制限があることなど、なかなかどうぞというわけにはいっていない状況です。他市でも、成功しているところがあれば、失敗になったところもあります。他市の事例を参考にしながら、校庭を何がなんでも芝生化するのではなくて、各学校に緑化をどうしたらいいか、工夫してくださいという呼びかけをしています。今年度も幾つかの学校で手を挙げていただいています、何も校庭のど真ん中を芝生化するのではなくて、その周辺や、門の周り、ビオトープの周りなどで緑化が可能ではという提案をいただいていますので、まずは、前向きに緑化をするという学校に対しては、大いに支援していきたいと思います。



中学校給食については、いよいよ教育委員会でゴーサインが出ました。従来、教育委員会では必要なしという見解でしたが、教育委員会でも食育を含めてきちんとした中学校給食を導入すべきといったような答申をいただきましたので、これからは、実施に向かった具体的な詰めをしていきます。全庁的に取り組まないといけないので、今月を目途に実施のための委員会を立ち上げたいと思いますが、つくる場所の問題がありまして、北町調理場と桜堤調理

場が耐震上少し危ういことと、老朽化をしているということもあって、その施設改修を先にやらないといけません。現在、小学校の給食をつくっていますから、その施設改修は夏休みしかできません。この8月はもう無理ですので、来年の夏休みに改修整備をして、それ以降に実施していこうという予定になっています。具体的な改修方法については、これから検討していくことになります。なお、給食費については、現在、市内の小学校では、他市で問題となっている未納者は、ほとんどいらっしゃいませんので、小学校の方法を参考にして取り組んでいきます。

泉幼稚園跡地ですが、中高生の居場所がないという意見を幾つかいただいています。中高生がどこにいるかという、コンビニの前や吉祥寺のゲームセンターなどです。ただ、私の息子も中高生ですが、彼らの生活を見ると、学校が終わって部活をして帰ってきて、塾へ行ったりして、それほど時間がないのではと思います。部活をやらない子もいるので、そういう子が集う場所というのはどこかという、本来、子どもから高齢者まですべてが交流を深める場所としてコミセンがあるので、コミセンを利用いただくのがいいかと思いますが、中高生になりますと、何人か集まるとどうしても騒がしくなってくるということもあり、自由に活動ができる場所について、全市的に考えていくべきであると思います。

1つは、児童館があります。桜堤に1館あるだけなので、行ったことない方もいっしょ

るかと思いますが、その地域の方や隣接する小金井市の方にはかなり評価を受けています。児童館を存続するのであれば、もっと全市域的に考えなければいけないので、どういう位置づけが可能なのかということで、例えば、幾つかの複数の児童館を駅勢圏ごとにつくっていくなど議論しなければいけないと思います。児童館は、乳幼児から、高校生ぐらいまでを対象としている施設ですが、杉並区の「ゆう杉並」という施設で、高校生・大学生が運営をしていて、後輩たちの面倒を見ているという、参考になる施設もあります。ただ、それも杉並区内で1箇所であり、地域ごとにできるのか、利用するような子どもたちの数があるのかも含めて、これから議論をすべきだと思います。

皆さんにお願いしたいのは、場所をつくる以前に、地域で中高生の役割を与えていただきたいということです。イベント等で、中高生に指導者として参加させるということが彼らの居場所になってくるわけです。例えば、コミセンで役割を与えれば、コミセンにも来やすくなっていくということもあるので、ぜひ地域で中高生の役割をこれからも見つけていただいて、大いに与えていただきたいと、それが中高生の居場所の第一歩になってくると思います。（参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については26ページをご覧ください。）

1. 中高生の居場所について

【発言意見】

青少協として、例えば、ジャンボリーのサブリーダーで連れていくなどの場を与えるという話と、児童館や居場所に対する我々の思いというのは、違うものですから、分けて考えていただきたい。青少協は一生懸命やっている中で、児童館や中高生の居場所が欲しいという意見が出てきている。例えば、武蔵野プレイスに防音室があるから、それで青少年対策になったんだと言われてしまうと、これは次元の違う話だと思う。

【市長】

中高生の居場所の議論は、今まで積み重ねられてないので、これを機会に皆さんとも意見を交わしていきたいですし、調整計画でも何らかの形で位置づけをしていきたいと思っています。

2. 井之頭小学校の学童クラブについて

【発言意見】

井之頭小学校の学童クラブは、かつて様々な箇所に移転して、やっと吉祥寺西コミセンの中に決まった経過があるが、それ以来、20年ほどたっている。学校の授業が終わってから、放課後ずっと友達と遊べればいいが、いつも井の頭通りを渡ってコミセンへ来て、そして1週間に1回、指導員が学校の庭へ連れていく。そういう生活を20年ほど続けている。その間に2～3度、自動車にぶつかったこともある。市長は、どのぐらいの目安で、学童クラブを学校に入れるように考えているのか。

【市長】

交渉事ですし、学校の考え方もあるので、こちらで何年度から移転をしますとはなかなか言えません。今、学校側と調整を始めていますので、もうしばらくお待ちいただくというお答えしかできません。今までの経過は知っていますし、井の頭通りを挟んで行き来をすると

いう、交通安全上厳しい環境ということも理解しています。移転をしたいという思いを学校に今ぶつけていますので、もうしばらく見守っていただきたいと思います。

3. 緑・環境・市民生活

【市長】

ごみ問題について、武蔵野市の家庭ごみの量が減らないということで、700 グラムキャンペーンを実施中ですが、キャンペーンを始めて半年ぐらいですが、大きな減量はなされていないということもありますので、もう少しPRを続けていきたいと思っています。ごみ問題を熱心にやられている方もいるんですが、そうでない方もいらっしゃいまして、そのギャップが大きいので、そのような方々に、ごみ問題がいかに大変かということを知周するような方法を考えていきたいと思っています。今、ごみ減量協議会の委員を、市報で募集をしていますが、その会議を通じて具体策について考えていきたいと思っています。

リサイクル活動センター等については、今は具体的なその拠点がありませんが、クリーンセンターは、今後、建て替えを予定しています。クリーンセンターができて 23 年で、ああいう設備は 30 年が寿命ですので、そろそろ建て替えの計画を始めないと間に合わなくなってきました。その際に、循環型の社会を支援するようリサイクルの拠点等の検討もできるのではと思いますので、私もこれは注目していきたいと思っています。

環境問題については、一自治体だけでは難しい面もありますが、一人ひとりが取り組むことが対策につながっていくので、機会あるごとに様々な取り組みをお願いしています。市役所も、ネクタイは締めていませんが、冷房を 28 度以下に下げないということにしていますし、エレベーターも一基停止して、職員はできるだけ階段を使うよう、省エネに努めています。市役所だけではなく、各家庭でも、クーラーは短い時間にするとか、車をなるべく使わない等の取り組みをしていただくことで、それが積み重なれば、N₂O・CO₂の減少につながって、温暖化対策になっていくのではと思います。



コミセンの活用拡大への調査研究ということについては、コミュニティ構想の策定から 30 年以上経過して、本来の目的を達成したのか、新たなコミュニティに対応をしているのか、研究課題だと思います。三十数年前のコミュニティ構想を続けることも必要ですが、今後、どういうコミュニティづくりが必要なのかを議論をすべきだと思います。武蔵野市には、町内会がほとんどありません。他市では、町内会が基本的な単位となっていて、防災・福祉・安全の取り組み等もしている中で、武蔵野市は、防災なら防災、福祉なら福祉の単位で活動が行われていて、それを全部コミュニティが担えるかという点、コミュニティも大きな単位なので、なかなか難しいです。まちの単位、くくり方もこれから大いに研究をしたいと思っています。

中央コミセンの建て替えを希望するというご意見について、コミセンも、エレベーターが

ないコミセン、老朽化しているコミセン、手狭なコミセンなどが出てきています。陳情が採択もされたコミセンもあります。今の長期計画では、平成22年度以降に再整備という位置づけがされていますが、調整計画の中で、前倒しにコミセンのリニューアルを位置づけて、条件の整ったところから、改修や建て替えをしていきたいと思えます。中央コミセンも、市の中央部にあって、利用頻度も高いが、エレベーターがないという課題もあり、使い勝手が悪い面もあるかと思えますので、建て替えの候補の1つだと認識していますが、全体のコミセンをどうするかは、調整計画の中で位置づけをしていきたいと思えます。

防災・防犯面で、木造家屋の密集地域について、なるべくオープンスペースを確保できる場所は、防災的な広場を確保、整備をしていく必要があります。また、不燃化のまちへ向けて、地震に強い家に建て替えていただくという指導を今後も進めていきたいと思えます。

新宿で、看板落下が起きました。市も早速、看板を出されているところには、全部チラシを配布して注意を呼びかけました。まずは、自主的に安全かどうかを確認してほしいということと、看板については、都の屋外広告物条例に基づいて設置されていますが、きちんと制度に基づいて設置するよう呼びかけたところです。引き続き市内のパトロールを通じて、危険な看板がないかは、ぜひこれからも見ていきたいと思えます。

緑・公園については、現在、公園は約160カ所ありますが、あまり利用されていない公園もあるんです。そういう公園について、どういう利用が可能なのかは、これから議論をしていきたいと思えます。去年も公園利用に関する委員会を開いて、例えば、キャッチボールがしたいとか、ドッグランが欲しいだとか、様々な意見をいただきましたので、現在、いろんな工夫を試みています。場所によっては、キャッチボールができたり、犬の散歩ができたりというような公園が必要ではないかと思えますので、これからも見直しをしていきたいと思えます。「住宅に困る人の設備をつくっては」というのは、どういうことなのか。



(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については29ページをご覧ください。)

1. 住宅困窮者への支援について

【発言意見】

紀ノ国屋の裏の西公園をつくる時に、地元の人たちにアンケートがあって、お年寄りで、住まいに困っている人がいるので、そういう人の施設をつくったらいいと提案したが、結局公園になってしまった。

【市長】

高齢者の皆さん、低所得者の皆さんの住宅については、市営住宅・都営住宅や、シルバーピアがあります。住宅政策の中で幾つか実施していますので、まずはそれをご利用いただきたいと思えます。今ある公園を減らして施設をという考えは持っていません。むしろどうや

って公園の面積をふやそうかと考えています。

2. 「武蔵野ごみチャレンジ 700 グラム」について

【発言意見】

「武蔵野ごみチャレンジ 700 グラム」について、ごみ問題に関心がない市民には意味がわからないと思う。駅前の看板にも、小さい字で説明書きはあるが、どのぐらいの量をやったら減らせられるんだとか、具体的な目安をどこかで説明していただいたほうがいい。

【市長】

確かに看板のスペースは限られていますので、細かい説明はできません。

【ごみ総合対策課長】

そのような意見はかなり多くいただいています。最初は、これは何かと疑問を持っていただくということでやったようなこともあり、市長もいろんなところで、この話をさせていただいて、ある程度、定着してきたかと思います。「チャレンジ 700」とは、武蔵野市で一日に一人が出すごみの平均が 760 グラムほどありますので、多摩の平均の 700 グラムまで下げましょうという意味です。市報 7 月 1 日号でごみ減量協議会の委員を募集していますが、今後、具体的に市民の皆さんにごみに関する取り組みをしていただくには、どうしたらいいかをそこで検討していこうと思います。市報やホームページにも、これをこうすれば何グラム減ります、レジ袋 1 枚使わなければ何グラム減りますというようなご案内はしていますが、今後もっとわかりやすいものにしていきたいと考えています。

4. 都市基盤

【市長】

三鷹駅北口の開発計画については、反対の陳情が出されている市議会の建設委員会でも、市が考えている基本方針に基づいて指導をしていくという答弁をしています。ただ、高さは非常に気になるものでして、私は、高いビルがどんどん建ってほしいとは思いませんが、限られた条件の中で、総合的なまちづくりの視点で、ある程度容認をせざるを得ないと考えています。建物の高さを低くして建ぺい率が増えてしまうと、その分、空間や緑が減ってくるという課題もあります。また、一定の場所に長時間の影を落とすことにもなります。それをタワー化することによって、解決が図られるということもありますし、同時に、周辺の道路整備等も可能になってきます。現在、さまざまな審議がされており、あるいは議会でも継続審議になりましたので、もう少し議会でのいろんな意見交換を聞きたいと思います。

武蔵野市内でどんどん高層ビルが建てばいいとは私は全く思っていない。できれば、早期に景観に関する考え方を整理したいと思います。具体的には、景観計画をつくること、それを運用するための景観条例を定めることが必要ですし、全市的にいろんなマンション問題も出ています。吉祥寺東町の法政一高・一中の跡地の問題もありますが、そういう問題が発生した際には、事前に情報を提供して、計画が固まる段階から、開発業者と地域の皆さんとの話し合いの場ができるようなことを規定する、まちづくり条例も検討をしていますので、そういう様々な制度の整備に至急取り組んでいきたいと思っています。

自転車の問題について、三鷹駅では、現在、駐輪場が大変不足しています。今は歩道を暫定的な駐輪場として利用していますが、景観的には望ましくなく、歩行者の動線を妨げるということもあるので、きちんとした駐輪場の確保を考えています。

市の今の駐輪場の部分を立体駐輪場にしてはという提案をいただいています。地面を使っただけの一層の駐輪場というのは、効率が悪いということもありますが、将来的には、そこを公共施設としてどういう利用をするのか、この調整計画を期に具体的な検討を進めていきたいと思いますが、やはり駐輪場はある一定程度確保する必要があると思います。

吉祥寺も同じでして、放置自転車が増えています。駐輪場は年々増やしているのですが、なかなかそれをすべて吸収できないという状況です。吉祥寺では、あと2,000台程度必要ですが、それを吸収するような用地がありません。現在、地下の利用はどうかという研究もしています。三鷹市では、立体駐輪場を地下につくりました。若干お金はかかりますが、補助金がつくということもあり、少し前向きに考えていきたいと思っています。

道路に関しては、快適な歩行者空間をもっと生み出していきたいと思っています。片や幹線道路の整備をある一定程度きちんとしなないといけないと思っていて、幹線道路の未整備が続きますと、その車両が住宅地の中に流れてきてしまうという悪循環もありますので、できれば住宅地の中はあまり通過交通が入ってこない、そして、歩行者が快適に歩けるようなまちを実現したいと思います。



商店街で、歩道に品物や看板が出している店舗については、市も指導をしています。個々に言っても、隣も出しているじゃないかという言い方で、なかなか理解を得られません。本来、道路に看板や商品を出すことは違反です。もう少し商店街の皆さんにもご理解をいただき、歩道部分は歩行者の空間だということを徹底していきたいと思っています。

上下水道については、一昨年9月に大雨が降って、市内の各地で浸水被害が起きました。それを解決しようということで取り組みを重ねています。幾つかの小学校、中学校では貯水槽を設けました。今年度は、四中と井之頭小の校庭を使って500~600トン規模の雨水貯留浸透施設を校庭に設けていきます。ただ、試算によると、1万トン級の貯水タンクがないといけないということです。場所を見つけて少しずつ増やしていくということと、注目すべき場所として、道路があります。道路は、市内の面積の15%ぐらいの面積があります。水をなるべく道路に浸透させるということが、極めて水害対策に効果があるのではないかと思いますので、市の担当に検討をさせています。同時に、地下水、雨水を浸透させるということは、環境に非常に優しいこととなります。地下水が増えると、井の頭池の水も湧水が復活してきれいになっていく。地面が水を保有するということは、それが蒸発することで温度を下げるという効果もありますので、道路を単なる交通の機能上の場所ではなくて、良好な環境を生み出すような場所につくりかえていきたいと思っています。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については34ページをご覧ください。)

1. 三鷹駅北口の開発について

【発言意見】

景観条例やまちづくり条例など検討しているということだが、三鷹駅北口の超高層マンション建設については、条例の制定が間に合わない。市は、100m以上の巨大建築物が中心にある町並みづくりをしようとしているとしか思えない。市長は市民の選挙で当選なさったわけで、市民の味方だと考えている。市民が武蔵野市に超高層ビルは困ると拒絶反応を示しているわけで、法に従っているから、容認するというのではなくて、市長が野村不動産の社長に会って、武蔵野市民はこう考えているんだと、どうしたらいいだろうかと相談してほしい。一人で不安でしたら、私、いつでもついていくので、ぜひお願いします。

【市長】

ご意見としてお伺いしておきます。

【発言意見】

ツインタワーの件ですが、非常にまずいと思うのは、平成 17 年に市役所企画政策室市民活動センターで実施した市政モニターアンケートで、超高層は困るという結果が出ているわけで、市長は、市民の多数の意思を基本的に尊重するというのが普通と思う。もし多数の意見について、市長が、それは違うんだと確信を持って思うなら、相当の説得を市民にしないといけないと思う。ところが、超高層ビルが建ったらどのような結果になるか、市が責任を持って一生懸命説得しているという姿勢が見えない。業者に聞いてくれとか、そういう質問には答えられないと言うなど、市が市民の気持ちを真摯に受けて対応してくれていない気がする。そこが一番の問題だと思うので、どうしても市長が、自分が責任を持ってつくるんだというのであれば、市民に誠意を持って、これが一番いい方法なんだと説明してもらいたい。市民のほうは、もっとその周囲の高さを考えて、調整してもらったらどうかという意見を出しているが、市長は、それに対してちゃんと答えていないと思う。



【市長】

ツインタワーの件は、景観的には違和感があるというのは、事実であり、私も課題として認識していますが、まちづくりは、景観の視点だけではなく、総合的な判断でせざるを得ないと思います。ただ、不安な面は十分にご理解していただかないといけないので、実際の計画の中身については、開発側が細かなデータを持っているはずですので、事業者から説明をさせますし、あるいは、周辺のまちづくり等につきましても、市でもご要望については検討していきたいと思っております。

2. 成蹊通りの計画について

【発言意見】

成蹊通りの延伸について、市では、地下を検討しているということだが、市が先行してやらないでいただきたい。やるんだったら全部情報をオープンにして、市民も加わってやらせ

てほしい。そうしないと、おかしなものができてしまう。都市計画道路については、とくに事業決定されていて、法的な根拠があるのだから、成蹊と十分に話し合ってもらいたい。もう何十年も待っているが、一向に進まない。成蹊通りの行き止まりに、木がいっぱい生えていて、植物園じゃないかとも思うが、あれは本来、道路である。大変なお金をかけているが、道路としては寝ている状態である。市長もリーダーシップをとって、その辺を仕上げてもらいたい。それによって、五日市街道の多摩信用金庫の前の交差点の渋滞が解消される。道路が未整備の部分があるが、北裏の道路もあるので、相当流れが変わってくる。あれが青梅街道まで抜けるのを待っていたのでは、時間がかかるから、ある程度の段階でスタートしてもらいたい。特に、今は、成蹊大学の校舎の工事でダンプカーが出入りしていることもあるので、早く道路をつくったらい。

5. 行・財政

【市長】

市民参加については、様々な工夫をしているところですので、このタウンミーティングも1つの糸口ではないかと思います。1巡目はこのような形でやらせていただいて、2巡目については、もう少し議論をして進化をしていきたいと思っています。タウンミーティングも直接市民の皆さんから意見を聞けるということで、議会にも呼びかけています。今日は、調整計画の策定委員会も市役所でやっており、そちらを傍聴されている方もいらっしゃるのかと思いますが、この場も議員さんにも利用いただきたいと思っています。職員については、報告書をつくる段階で、すべての意見を全庁にメールで流しますので、その時点で、間接的には出された意見を知ることができます。こういう場に来るということは、大いに結構だと私は言っているんですが、なかなか自主的に参加というまではいかないようですので、もう少し私も職員に言っていきたいと思っています。

市民協働サロンについては、まだ皆さんに十分ご案内していませんが、市役所の西棟が今まで2階建てだったものを8階まで増築しました。主に、防災安全センターとして機能しますが、7階の一角に市民協働サロンという、市民活動団体の皆さんが利用できる、印刷や、会議ができるコーナーの設置を予定しています。場所はできましたが、運営の仕方がまだ定まっていませんので、できれば、NPOの皆さん等にご協力をいただいて運営していきたいと思っています。9月からスタートですので、ぜひご利用いただきたいと思っています。



シルバー人材センターの皆さんに市報を配布いただいています。新聞折り込みですと、新聞をとっていない家庭が多数あるので、全戸配布をするということと、高齢者の就労の場の確保ということを考えたうえでの実施です。4月からスタートしたばかりですので、誤配などいろいろ混乱はあるかもしれませんが、いましばらく見守っていただきたいなど。逆に、その効果が出ており、月2回、腕章をつけてシルバーの方が地域を回っていただいているこ

とで、安全にもつながっています。まちは人が歩かないと安全に結びつかないので、非常に効果があるんじゃないかと思います。

市の職員、考え方や行動に甘さが見えてきたというふうにご指摘ですので、具体的にどういふ点が甘いのかを考えていきたいと思います。

税金をできるだけ少なくしてほしいということですが、昨年度から、事務事業・補助金の見直しという議論をしています。一旦、補助金を出すと、なかなかそれは切れません。そうすると、新たな補助金をまたつけていくという、拡大の傾向にありましたが、もう一回見直しをして、不要不急な事業は思い切ってやめてもいいんじゃないか。補助金の出し方についてもきちんとしたルールをもう一回つくろうじゃないかと。去年これぐらいもらったから、今年も同じぐらいというのではなく、どういう活動をするからこれぐらい欲しいとか、きめ細かなルールづくりが必要だと思いますので、これは必ず実現をしていきます。

固定資産税につきまして、私の公約の1つとして、固定資産税等の減免ということがあります。基本的には、中小の事業者の、事業者の皆さんに対する支援策の1つです。土地に対しての減免が難しいかということもありますが、まちづくりに寄与するような形での減免制度というのは導入できるんじゃないかということで、今、まとめをしています。できましたら、次の議会に提案をしていきたいと思います。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については42ページをご覧ください。)

(4) 閉会のあいさつ

【吉祥寺西コミュニティ協議会委員長】

皆さん、今日はどうもありがとうございました。何か得ることがあったでしょうか。この時間では、とても言い尽くせなかったと思います。来月、中央コミュニティセンターで、タウンミーティングがございしますので、またそちらのほうにもお越しいただければと思います。これを機会に、コミュニティづくりの拠点といたしまして、よりよいまちづくりを考えていきたいと思っています。本日は、どうもありがとうございました。



【市長】



最近、私の話が長いと職員から指摘されておまして、何か言いたいことがいっぱい出てきちゃうんですね。でも、質問に対してまだやっぱり不十分だったかなと、もっと議論をしたいなというふうに思っていますが、これで終わりではございませんので、ぜひいろんな場面で、ご意見をいただければと思いますし、次回、8月1日に、中央コミュニティセンターでタウンミーティングがございしますので、そちらにもお越しいただきたいと思っています。今日のこの開催にあたりまして、吉祥寺西コミュニティ協議会の皆さん、本当にありがとうございました。皆さんもご参加いただきまして、ありがとうございました。

2. 参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針

①健康・福祉

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
高齢者福祉	1	シルバー作業所はランチを吉祥寺地区や境地区に作る必要がある。	シルバー人材センターの建物は、かなり年数が経っており、リサイクル作業所を併設しているため、手狭になっている状況にありますが、現在のところ、活動に大きな支障はございません。また、シルバー人材センターの場所は、市の中心部にあることから、利便性も高くなっており、現時点ではランチを設置する予定はありませんが、今後、PR活動や関連機関との連携に力を入れるなど、さらに利便性を高めるよう努めていきます。
	2	高齢者の健康保持として、野外(室内)で自由に利用可能な場の確保を求めています。	高齢者の健康保持の場としては、総合体育館や高齢者総合センター等における事業の他、各コミセンでの地域健康クラブ、浴場での不老体操があります。また、当日自由参加できる事業としては、公衆浴場等を利用した不老体操が実施されています。高齢者の方が、全く自由に利用されるための場の確保は、安全管理面からなかなか難しく、また実際にお一人で効果的に健康増進を継続させること自体も困難なのではないかと考えています。「自由にいつでも気軽に行える健康づくり」という視点から、市の健康づくり支援センターでは、自宅で手軽に行なえる「だんだん活力アップ体操」のケーブルテレビでの放映や、郵送による通信教育「軽やか若ひざ体操教室」を実施しています。ラジオ体操や井の頭公園での早朝の体操クラブなど、高齢者も含めた市民の自主グループの活動もあります。
	3	地域に誰でもが立ち寄れる”しゃべり場”的な居場 10分～15分以内で高齢者が立ち寄れる(ミニミニテンミリの)場を。本町2丁目からコミセンは遠すぎるので。近隣同士の助け合いボランティアも可能。	市内には、地域のコミュニティづくりの拠点としてコミュニティセンターが20ヶ所あります。また、高齢者の方が気軽に立ち寄れる場所として、6ヶ所のテンミリオンハウスを配置しています。さらに、吉祥寺本町4丁目には「吉祥寺在宅介護支援センター」があり、気軽に立ち寄っていただける喫茶コーナーもあります。テンミリオンハウスについては、欠落地域に適当な寄付物件等がありましたら、適宜整備をしていきます。
介護保険	1	介護をする人は介護を受ける高齢者の気持ちを大切に介護について研修をする場を市が設定して欲しい。	訪問介護員は、ヘルパー資格等を取得したうえで業務を遂行しており、また、資質向上のための研修等は各事業者単位で行われています。市では、訪問介護事業者連絡会議を設置して、事業者指導を行っています。が、今後は良質なサービス確保の観点から、コーディネーターやヘルパーの資質向上についての方策を検討すべき時期にあると考えています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
地域福祉	1	地域福祉の鍵を握るのは地域社協。地域社協を行動する福祉の実戦部隊にしたい。 行政と市民の協働をいかに実現するか、市民の意識革命が必要だ。	地域福祉を支える社会資源として、地域社協へは大きな期待をしています。市民社会福祉協議会とも連携を図りながら、地域社協の活動を一層支援したいと考えています。
	2	市はこれからの地域福祉をどのように位置づけられるか、どういう役割を望むか？	都市化の進展に伴う地域の福祉力の低下傾向を踏まえて、地域活動の活性化を図る必要があります。防災・防犯・学校・青少年活動・緑化など、地域のさまざまな活動との連携がとれたネットワークづくりが必要であると考えています。
	3	地域社協に関わらせていただいております。武蔵野市民社会福祉協議会をもっとわかりやすい場所に。	場所の移転については、現在予定はありません。引き続き、市民社会福祉協議会の活動の周知に努めていきます。
医療	1	感染症対策について 1. HIV(エイズ)感染者が増加中であること 2. 肝炎(B型・C型)予防対策 3. 新型インフルエンザ流行予防対策 特に幼児・高齢者 4. 消化器感染症については？ 5. ハシカ・結核等の対応は？	医療政策は基本的には都道府県の権限で行われているものですが、市が行っている事業を説明します。 1. 毎年エイズの無料電話相談利用の啓発ポスターを作成し、医療機関や公共施設に掲出しています。また、多摩府中保健所と管内の近隣5市(三鷹、府中、調布、小金井、狛江)とともに、毎年11月には吉祥寺駅前エイズ街頭キャンペーンを開催しています。 2. 40歳以上の市民を対象に実施している基本健康診査で、肝炎検査未受診の方については肝炎検査を実施しています。また、東京都の事業として7月1日より、職場等で受診機会のない、肝炎検査未受診の方(39歳以下も含む)は、ご希望により市内医療機関で肝炎検査を受診していただくことができるようになりました。 3. 新型インフルエンザ対策としては、現在、防災安全部安全対策課と共に「新型インフルエンザ対応マニュアル」(仮称)の策定に向けて検討を重ねています。 4. 消化器系感染症についてですが、市が設置している給食施設の衛生管理に対しては、食中毒対策等の徹底を図るため、武蔵野市食品衛生安全点検委員会を設置し、年1回、市のすべての給食施設に衛生管理に対する立入調査を実施しています。一般的に、ノロウイルスやO157などが流行した際には、保健所から対策法等の正確な情報を取得し、市報等で啓発を行います。 5. はしか(麻しん)について、先般の流行時には、予防接種の対象年齢外で、過去にワクチン未接種だった市立小・中学生にワクチン接種の公費補助を行いました。今後あらたに、1回接種の10代の若者に対する2回目の接種の実施について、国の指導がなされるようなので、その状況をみながらワクチン接種の検討を行っていきます。結核については、乳幼児を対象とした予防接種の他に満15歳以上40歳未満の市民を対象に、若年層胸部検診を実施しています。

②子ども・教育

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
子育て支援	1	地域を切り口としたタウンミーティングも大変重要ですが、テーマを切り口としたタウンミーティングの開催を検討していただきたい。 具体的には、保育園・学童等学童期までの子育て支援に対して行政としての市の果たす役割、目標について市民と市が共通認識を持てるような意見交換は難しいでしょうか？	現在、各コミュニティ協議会との共催により実施しているタウンミーティングが一巡した後、テーマ別のタウンミーティングを開催していきたいと考えております。テーマについては、現在、開催方法や場所なども含めて、検討しております。
学童クラブ	1	学童クラブ学校内については、20年前からの問題になっています。あまりにも長い年月に対してどのように思っているのでしょうか。学校に学童が入り生活する場を広さ、使いやすさを考えていただきたいと思っております。	第四期長期計画にあるとおり、市では、学童クラブの学校内、あるいは隣接地への移転を検討するとしています。これに基づき、井の頭こどもクラブについても、学校と話し合いを続けているところです。少人数学級への取り組み等様々な課題もありますが、鋭意努力をしていきたいと考えています。
	2	井の頭学童クラブを学校内に移転させてほしい。	
保育園	1	三鷹北口駐輪場を立体化して保育園を作ってほしい。	三鷹駅北口の総合的なまちづくりの方針を今後検討する中で、総合的に判断してまいります。
	2	保育所は、三鷹北口駐輪場に建設したらどうか。働く親は駅前に設置したほうが便利であります。	
	3	旧図書館の跡地を保育園にどうでしょうか。またはメモリアルホールに。	旧中央図書館の活用については、今後、調整計画の議論の過程を経て、研究を進めていきます。また、現在、葬儀等は公的施設としては、コミュニティセンターの利用をお願いしているところです。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
小・中学校	1	小学校のグラウンドを早急に芝生化する必要がある。(効用が多い)	学校の校庭の目的について、学校教育の一環としては、体育の授業と休み時間での遊びの使用ということになります。そこではボール運動や陸上運動、駆けっこ、縄跳び、一輪車など多種多様な運動や遊びが行われます。芝生は、サッカーにはいいかもしれませんが、野球やポートボールのようなバスケット型競技、短距離走や持久走などのトラック競技等、さまざまな使用目的に対してどうなのか、学校は非常に多目的に校庭を使っているだけに、使い勝手についても議論のあるところです。また、学校は子どもの教育活動の場ですが、施設開放や防災の拠点という機能を併せ持っており、校庭は、早朝からの遊び場開放、放課後開放、土曜・日曜日の開放、さらに、少年野球やサッカーでの団体使用等々で活用されています。
	2	校庭の芝生化は反対です。利用率低下で本末転倒です。	芝生化には、初年度で言うところと3カ月間、また、秋の追いまき(オーバーシード)をすると、さらに毎年1カ月ほどの養生期間が必要であり、この間は芝生の上での活動ができなくなります。校庭を全面芝生化した場合、その間の校庭の代替地の確保が大きな課題となります。したがって、教育活動として行う多種多様な運動や遊び、行事などに支障がないこと、また、芝生の養生に要する一定の期間にわたって使用することができなくても、教育活動をはじめとするさまざまな校庭利用に支障がないことを念頭に置かなければなりません。
	3	市内の学校のグラウンドを全面芝生に。地球温暖化にも良い。	現状では、各学校の自主的な創意工夫で、学校緑化の一環として校庭の一部芝生化を進めています。学校緑化といった場合には、校内の樹木、花壇、ビオトープを始め屋上緑化、壁面緑化など、さまざまな手法が考えられます。一部芝生化であっても、水撒きや芝刈りをはじめさまざまな維持管理の費用と人手が必要になります。学校と地域のご協力を期待しています。
	4	児童の健康増進、情操教育面、市全般の緑化率アップから、小学校の校庭の芝生化を地域の協力を得て計画的に実施。	学校プールの水抜き時に、学校によっては「ヤゴ救出大作戦」などと銘打って、実施している場合があります。総合学習の授業として行っている場合もありますが、行事として実施しているところが多いようです。行事の場合は、採集したヤゴは各自持ち帰っていますが、授業で行う場合は、学校でペットボトルなどを利用して観察をしたりしています。今のところ各学校の判断に任せていきたいと考えています。
	5	学校のプールについて、使用時の水抜きの時にはせめてヤゴの救出くらいはして欲しい。	中学校給食については、公募市民も交えた中学校給食検討委員会の提言をもとに、教育委員会で検討いただき、食育を含めてきちんとした中学校給食を導入すべきという方針を出しました。現在は、実施に向けた具体的な計画づくりに全庁を挙げて取り組んでいます。また、中学校教育については、中学校給食の実施も含めて、充実に努めていきたいと考えています。
中学校給食	1	中学校給食について。公約の為、実施止むを得ないが、実施前に下記説明を市民に。 1. やる理念がない。時代遅れで。 2. 費用対効果の説明なし、給食をせずに中学予算を傍らにして、中学生に文武充実な教育をやって欲しい。	中学校給食については、公募市民も交えた中学校給食検討委員会の提言をもとに、教育委員会で検討いただき、食育を含めてきちんとした中学校給食を導入すべきという方針を出しました。現在は、実施に向けた具体的な計画づくりに全庁を挙げて取り組んでいます。また、中学校教育については、中学校給食の実施も含めて、充実に努めていきたいと考えています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
中学校給食	2	中学校給食の開始に伴い、給食費の回収方法はどのようにされるのでしょうか？滞納がおこらない方法を当初から行ってください。	給食費について、現在、市内の小中学校では、他市で問題となっている滞納は、ほとんどありません。中学校給食の実施にあたっては、他市の先進事例なども参考にし、よりよい方法を検討していきます。
泉幼稚園跡地問題	1	保育所を増やしてください。泉幼稚園跡地が利用できれば素晴らしい。	保育需要の動向を見ながら、保育サービス提供について検討していきます。
	2	保育園を増やしてください。泉幼稚園の跡地は最適だと思います。	
	3	泉幼稚園跡地利用について。保育園を作りたいとの考えだが、3階くらいにして2・3階に老人が入り、1階を保育園にしたら良いと思う。	泉幼稚園跡地については、長年幼稚園であった歴史を持つ土地であることに鑑みて、子育て支援関連施設として調整計画策定委員会で議論していただいているところです。
	4	泉幼稚園跡地の問題は、会議(合)を進めながら良い方向付けができてきたように思っていますので、保育園の問題は是非別に考えて進めて欲しい。	
	5	泉幼稚園の所は野っぱが良いと通るたびに思ってしまう。今野っぱがとても少ない。	
	6	地域の未来を作る青少年に居場所を！！ (泉幼稚園跡地)	
	7	泉幼稚園跡地利用、全く居場所がない中学・高校生が利用できるようにしてほしい。	
	8	中高生が安心して集うことのできる場所を作ってください。泉幼稚園跡地等…	中高生の居場所づくりについては、調整計画策定委員会で議論していただいているところです。また、「武蔵野プレイス(仮称)」における青少年の居場所づくりの検討とも併せて研究すべき事項と考えています。
	9	「考える会」としての意見は先日の会合で伝えてあると思うが、今後何を話し合うのか？	泉幼稚園跡地については、子育て支援関連施設として、調整計画策定委員会で議論していただいているところです。調整計画での結論に従って、その後のご相談をさせていただきたいと考えています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
青少年施策	1	健全な青少年育成を望む。それには青少年(中・高生)が集える場所・居場所作りを望む。	中高生の居場所づくりについては、調整計画策定委員会で議論していただいていることです。また、市では、JR武蔵境駅南口に、平成22年度中の開館を目的に、図書館を中心とした青少年活動・市民活動・生涯学習の各支援機能をもった新しい公共施設(武蔵野プレイス(仮称))の建設を予定しています。特に青少年活動の支援については、青少年センター的な役割を持ち、青少年の「居場所」として、さまざまな機能を持った、青少年がのびのびとできるだけ自由に利用できるような施設を目指しています。
	2	中高生の居場所を作って欲しい。市内に児童館は1館しかない。コミセンではうるさがられて、迷惑をかけているようである。杉並区や調布市にはそういう施設があっとうらやましい。	
	3	小・中学校を健全に卒業した子どもたちが”その上のステージ”に力強く上がってめげずに巣立っていくためにも、心の守りどころとなる”たむろする場所”、つらいときに自由に心の中を表現できる場所を作って欲しいです。この武蔵野市が大好きだし、今育てているわが子が成長して地域活動が自然にできるよう、小・中学校で育んだ体験を熟成する場所を作ってください。	中学生・高校生を対象に青少年リーダーの養成講座を実施し、その修了者には、市内のイベントや保育ボランティアなどに参加いただいています。このような機会を通じて、社会性を養い、地域の一員として活動いただきたいと考えています。
	4	学童クラブと地域子ども館「あそべえ」の各指導員は、校庭開放を通じた協力、避難訓練・不審者対策訓練の合同実施など、機会あるごとに連携を図っています。あそべえ(指導員)と学童指導員とお互いの向上のために研修しあい、連携する機会を作るべき。	学童クラブと地域子ども館「あそべえ」の各指導員は、校庭開放を通じた協力、避難訓練・不審者対策訓練の合同実施など、機会あるごとに連携を図っています。また、昨年より、研修についても合同で実施しており、共通認識のもと、児童に対応できるよう努めています。設置場所が学校内にある場合は、お互いの事業を進めるうえでの情報交換や情報共有は図られています。今後も、このような機会を作りながら、連携について調査・研究したいと考えています。

③緑・環境・市民生活

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
ごみ	1	ゴミの問題。 各戸で集めるのではなく、センターに持ってゆく方が良く、システムを見直してほしい。	ごみステーションから戸別収集に変更したのは、一人ひとりが出す自分のごみに責任を持っていただくことや、ごみステーションをめぐるトラブルを減らすこと等が主な理由です。これにより、まちの美観が向上し、ごみ置き場でのトラブルも減り、ごみの減量・分別についての意識もあがっていることから、現行の収集方法を維持したいと考えています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
ごみ	2	生ゴミを焼かずに堆肥化のシステムを考えてください。	桜堤団地の生ごみを堆肥化し、その堆肥を市内の農業生産者に使用してもらい、生産された農作物は年1回朝市で団地住民に提供されるという、循環の輪ができており、循環型社会のモデルケースとして実施しています。しかし、都市化が進み農地が非常に少ないため、全市的に広げていくことは難しい状況です。
	3	「リサイクル活動センター」施設をぜひ作って欲しい。(他の自治体は多くが持っている)	「リサイクル活動センター」の施設整備については、施設規模や設置場所等に課題がありますが、現在ごみ処理基本計画の改定に向けて、廃棄物に関する市民会議が開催されていますので、市民会議での検討課題といたします。
	4	ゴミの量があまりにも他地域と異なります。これは家庭だけのゴミの量のことですか？大型店、コンビニ、大会社はどうなっていますか？委託業者も市役所で代金を払って燃やしていると聞いたことがあります。それはどうなっているのでしょうか。吉祥寺に遊びに来る方も確かに多いですが、その方々のゴミはささやかなように思っております？	都内有数の商業地区である吉祥寺を有する本市は、事業系ごみの排出量が多摩の他の自治体と比較しても高い水準にあり、事業系廃棄物対策がごみ施策の大きな課題となっています。ごみを多量に排出する事業所では古紙類や生ごみの分別資源化等の取り組みにご協力をいただいております。平成14年度に15,820tあったこれら事業系持込ごみは、平成18年度には11,706tで約3割減量しています。市では、今後も引き続き事業系廃棄物の分別・減量・資源化指導に取り組んでいきます。
環境	1	地球温暖化に対する市の本格的な政策・施策を示すべきと考えるがいかがか。	市は、地球温暖化問題を重点的に取り組むべき課題と捉えています。平成18年4月に策定した環境基本計画に沿って、市民・事業者・市それぞれの活動の中で、環境負荷低減に取り組めるよう支援を行っています。
	2	市の施設(関連施設を含む)には、温暖化対応のために壁面緑化をもっと進める必要がある。	市では、緑化推進を指導する上で、屋上緑化や壁面緑化も含め指導を行っていますが、地上部の緑化を重点的に指導しています。壁面緑化は、限られたスペースを有効活用して緑化推進できますので、有効性を考慮した上で、各種条件の整備など積極的に検討していきます。
	3	市の施設は温暖化防止のために、屋上緑化を進める必要がある。	市では、緑化推進を指導する上で、屋上緑化や壁面緑化も含め指導を行っていますが、地上部の緑化を重点的に指導しています。屋上緑化は、限られたスペースを有効活用して緑化推進できますが、建物の構造的制約や維持管理のコストについて総合的に検討する必要があります。今後は、屋上緑化の有効性を考慮したうえで、各種条件の整備など積極的に検討していきます。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
環境	4	「環境協働のまちづくり」(環境対策課)で実施した内容は、もっと申請書類の基本的概念やフォーマットをつめる必要がある。	環境まちづくり協働事業の申請にあたっては、事前協議等を行い、内容その他を相互に理解したうえで、申請がなされるようにしています。今後もより利用しやすい制度にするための工夫をしていきます。
	5	市の関連事業者(開発公社...)は、環境経営を強力に推進する必要がある。	事業者の環境配慮行動を促進するため、グリーンパートナー制度を行っており、現在202件の事業者が参加しています。開発公社などの市の関係団体及びコミュニティ協議会などの公共的団体については、23団体が参加しており、このうち、6団体は、組織的・継続的な取り組みが必要なⅡステップの区分に参加しています。なお、開発公社については、東京都環境確保条例による地球温暖化対策計画書制度の対象事業者として取り組みを進めています。また、昨年11月にFFビル3階にオープンした吉祥空園SORAは、武蔵野の雑木林を再現した新スポットですが、吉祥寺の屋上緑化としても注目をあつめ、憩いの場所を提供しています。
	6	道路のタバコを禁止にしてください。	路上禁煙に指定した場合には、違反者に対しての実効性を担保する体制が必要となります。市では、禁煙地区の指定にあたり、エリア内の商店会や住民団体等と協働による活動を基本としていますので、地域の皆様と協働体制が確立されれば、必要に応じて適宜対応していきます。
	7	吉祥寺駅北口バス停前の喫煙場所を移動してほしい。バス待ちの人が間接喫煙となっています。	市内三駅周辺の路上禁煙地区においては、歩行喫煙者やたばこの吸い殻が70%以上減少しています。ご指摘の喫煙場所については、受動喫煙の問題もあることから商店会や市民団体等と行政で組織している「ようこそ美しいまち吉祥寺委員会」において慎重に検討していきたいと考えています。
コミセン	1	コミセンの活用拡大への調査研究を推進する必要がある。「コミセン特区」を申請して、もっとコミセン機能を高めることをしたい。	コミセンの活用については、来年度以降、コミュニティ市民委員会を開き検討していきたいと考えています。
	2	中央コミセンの建て替えを希望します。エレベーターがないので障害者の方、高齢者の方が大変困っています。来年30周年を迎えます。建物はその前から市の施設だったものをコミセンとしていますので不便な面も多々あります。	中央コミセンはご指摘のとおり昭和49年の建物を使用しておりますので、当時は3階の建物にエレベータを設置する考えが無かったため、利用の方にはご不便をおかけしています。現在、全コミセンにおいて、バリアフリー対応の工事を進め、エレベータ工事など物理的にできない工事を除き完了しています。そこで、コミセンの建て替えや地域の見直しをテーマに、来年度以降、コミュニティ市民委員会を開き検討していきたいと考えています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
生涯学習	1	数年前、生涯学習課を通じて「カヤ」を市に寄付しました。当時窓口の職員の殆どが「カヤ」を知りませんでした。最近TV、新聞で「カヤ」についての報道が行われております。ぜひ和室でも広げて展示してください。	寄贈民具については、展示や貸出などで、適宜活用しています。
スポーツ	1	スポーツ振興について。 総合型地域スポーツクラブを市として施策を実施するのもしないのか回答を。	総合型地域スポーツクラブについては、国のスポーツ振興基本計画において、「2010年までに各市区町村に少なくとも1つは育成する」ことを、到達目標として掲げられてます。市には、現在、総合型地域スポーツクラブは設置されていませんが、来年度以降策定を予定している市のスポーツ振興計画(仮称)の中で、地域スポーツクラブについて検討する予定です。
	2	高齢者の健康増進のため、体育館の機器の充実をはかっていたきたい。	現在、総合体育館のトレーニング室には約40種類の器具を設置し、多くの方にご利用いただいています。これらは、ユニバーサルデザインの器具を採用し、高齢者ばかりでなく全ての利用者に扱いやすいものであるよう心がけています。また、トレーニング室では、専門のトレーナーがその方のレベルに合ったプログラムを提供し、高齢者の健康増進にもきめ細かく対応しています。
防災	1	吉祥寺本町3丁目、4丁目は木造家屋密集地域で、震災時の危険度が高い。改善対策について聴きたい。	木造住宅密集地域については、密集・木造・老朽の3つの視点から設定されています。防災上の対策として、オープンスペースの確保とともに、可能な場所があれば防災広場等を整備していくこと、また、なにより地震に強い家屋に建替えていくことが最も重要ですので、今後も地域の皆様にご協力をお願いしていきます。
安全対策	1	看板落下で若い女性が大ケガをしたというニュースを見たが、その建物は建築基準法の規制外だったそうです。武蔵野市内にも落下する看板(重さに耐えられなくて)がないのかどうか調査するようお願いしたい。	屋外広告物の設置等については、東京都屋外広告物条例により決められています。市では、新宿で起きた落下事故の重大性をふまえて、吉祥寺駅周辺のビルオーナーや広告主に対し、屋外広告物の安全管理と届出の啓発を呼びかけるチラシを即座に配布し、注意喚起を行いました。また、随時市内調査を行ない、未届けや違反広告物を発見し次第、広告主に対して指導を行なっています。今後も、広告主・施工主に対し安全管理の義務があることを周知徹底していくよう努めていきます。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
防犯	1	<p>挨拶を気軽に交わせるまちづくり、防犯・防災面で効果的。</p>	<p>市としましても、地域の方々が挨拶を気軽に交わすことが、犯罪者を寄せ付けない雰囲気のみちづくりに効果的であると認識しています。引き続き安全・安心なまちづくりに取り組んでいきます。</p>
緑・公園	1	<p>成蹊学園ケヤキ並木の南天のまわりに紫陽花が咲き誇っております。これは●●先生が一人でこつこつ植えたものだと思います。長靴に作業着姿をよく見かけました。近所の方も苗を持っていくとそっと植え、名札をそれぞれにつけ、通る人たちを楽しませてくれました。今は高齢になり協力する人もいない為、木が伸び繁っております。感謝を込めて先生に一言かけてはいただけませんか。北町3-●-● ●●●●様です。</p> <p>※個人を特定しうる情報については編集してあります。</p>	<p>成蹊学園内のケヤキ並木は、成蹊学園が管理しています。市内では、各公園を拠点とした緑ボランティア団体や、団体には属さず個人で花植えやゴミの清掃を行っているボランティアの方が多くいらっしゃいます。緑の保全や緑化推進は、このような活動を通して、守り育てられ広がるものと考えており、今後この取り組みを広く啓発するとともに、世代を超え引き継がれることを期待しています。</p>
	2	<p>市内に公園が100箇所以上あるそうだが、有効に活用されていないところもあるようなので、少し整理して住居に困る人の設備を作っては如何ですか？</p>	<p>市内には、約160箇所の公園があり、設置から数十年経過し有効に利用されていない公園が見受けられます。公園は、地域の皆様方のコミュニティの場として貴重なオープンスペースであることから、利用者のニーズにあった親しまれる公園が理想と考えています。今後、地域の皆様方のご意見を頂戴しながら、既設公園のリニューアルを進める予定です。</p> <p>また、市では、住宅に困っている高齢者、低所得者の方々に、地域で安心して住み続けられるよう福祉型住宅、市営住宅を提供していますが、現在、市営住宅で建替え事業が進められており、新規入居募集を行っていません。来年度以降、建替え事業の完了したところより、新規入居募集を予定しております。現在のところ、老朽化した市営住宅については、建替えを進めていきますが、市営住宅、福祉型住宅を市が新規に整備する計画はありません。</p>
	3	<p>三鷹ー吉祥寺間の玉川上水は緑も豊かで散歩には楽しい道ですが雑草が茂り美しくありません。大変ですが、ボランティアの方たちでも綺麗にさせていただけたらありがたいです。</p>	<p>玉川上水の緑道は、平成15年に史跡指定され管理を東京都が行っています。また、東京都においては保存管理計画等を策定し、維持保全について進めているところです。今回の貴重なご意見は、東京都へお伝えいたします。</p>

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
商店街	1	中央線各駅前商店街の将来繁栄化について、吉祥寺、(三鷹、)立川の商店街の将来。	平成18年3月に公表された路線商業活性化懇談会の提言を踏まえて、市内路線商業の活性化を図っていきます。

④都市基盤

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
駅周辺整備	1	市内全域の景観を守って欲しい。 超高層マンション反対。 市民の意見をきいてください。	三鷹駅の北口地区は、三鷹駅南口とは異なり、駅周辺に緑が多いことが特徴となっています。そのため、通常の商業地域と異なり、建物周辺に広い空間を確保し、既存の樹木を保護し、さらに多くの緑を確保することで、特徴を活かした駅前空間を創出していきたいと考えています。また、今回の事業計画地周辺は市民の皆様参加を得て策定した「武蔵野市都市マスタープラン」や「武蔵野市駅前広場高度利用構想」等の、市これまでのまちづくりに関する計画の中でも高度利用を図る地域として位置づけられています。超高層マンションが景観的に違和感があるということは、課題として認識しておりますが、高さを抑えることによって建物の幅が広くなり、直近に対する日影や圧迫感の影響が大幅に増加すること、空地が減少し、樹木も残せなくなること等のマイナス面も考慮しなくてはなりません。今回、事業者の計画案が市のまちづくり計画や基本方針に沿ったと計画となったため、総合的なまちづくりの視点で、一定の高さは容認することとしたものです。
	2	都市景観をよくする意味で突出した巨大な建築物を市内全域に建てさせないで下さい。町並みを大切にしてほしい。	
	3	三鷹駅北口と武蔵野市の玄関にふさわしく、超高層ビルの建設に反対。	
	4	多くの市民が三鷹駅北口の超高層に拒否反応を示しているにも拘らず、デベロッパーと市はツインタワーマンション計画を強行しようとしている。市長は政治生命をかけて計画見直しに踏み切るべきではないか。	
	5	三鷹駅北口の高さ104mの超高層ツインタワーマンション計画が強行されようとしているが、武蔵野市民は超高層ビルが存在する近代的な町並みを望んでいない(18年2月公表の景観アンケート調査結果や、三鷹北口超高層マンションを考える市民の会の周辺の建物と同程度の高さにすべきという意見に賛同する署名が2ヶ月強で3,000人近く集まったことで明らかである)。 市民が主役のまちづくりを掲げておられる邑上市長は、今こそ、野村不動産の経営トップに直接会われて、計画の見直しを要請していただきたい。	
	6	三鷹駅北口のツインタワー100m。この建物は高すぎて武蔵野の緑の多い市とはマッチしない。低く指導される事を望みます。	
	7	武蔵野市独自の環境を守ってください。それは超高層マンション建築を許さないで欲しい。超高層は、環境に悪い。市民の意見を優先して声を聞いてください。	

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
駅 周 辺 整 備	8	<p>三鷹駅北口超高層ツインタワー(103m)の建設に大反対！ 吉祥寺駅と三鷹駅の間に住んでおり、三鷹駅もよく利用しますが、駅前のTSUTAYAの前に巨大なビルが建つと聞き驚きました。武蔵野市は、この地球温暖化を加速させる建物を高さ条例がないからといって許可してしまわず、地域の町並みを考え、自制心で附近の建物程度の高さに抑えるという前例を作してほしいと思います。 タワーパーキングの設置で近所の交通量も増え、あのあたりの信号機のない横断歩道でも事故が多くなると思います！</p>	<p>三鷹駅の北口地区は、三鷹駅南口とは異なり、駅周辺に緑が多いことが特徴となっています。そのため、通常の商業地域と異なり、建物周辺に広い空間を確保し、既存の樹木を保護し、さらに多くの緑を確保することで、特徴を活かした駅前空間を創出していきたいと考えています。また、今回の事業計画地周辺は市民の皆様の参加を得て策定した「武蔵野市都市マスタープラン」や「武蔵野市駅前広場高度利用構想」等の、市のこれまでのまちづくりに関する計画の中でも高度利用を図る地域として位置づけられています。超高層マンションが景観的に違和感があるということは、課題として認識しておりますが、高さを抑えることによって建物の幅が広くなり、直近に対する日影や圧迫感の影響が大幅に増加すること、空地が減少し、樹木も残せなくなること等のマイナス面も考慮しなくてはなりません。今回、事業者の計画案が市のまちづくり計画や基本方針に沿った計画となったため、総合的なまちづくりの視点で、一定の高さは容認することとしたものです。また、事業に伴って、一部道路の拡幅を行い、歩車道の分離により安全対策を講じます。事業地以外の区間についても、現在市の道路事業として既に事業中の路線ではありますが、今回の民間事業に引き続き促進していきます。</p>
	9	<p>三鷹駅北口超高層ツインタワー建設についてとても不安に思っています。 建設中の周辺道路の状況や、あれだけの高さの建物ができた後の風害、電波障害、入居してくる人たちのことを想像すると、ゾッとします。 市としてはどのように考えているのか、お聞きしたいと思います。</p>	<p>風の影響については、風洞実験などの事前調査を実施し、風環境評価基準に基づき評価しており、建物の形状及び植樹による低減策を講じることにより、住宅地・市街地としての風環境を満たす計画となっています。また、電波障害については、障害の発生する範囲において対策をとることとなります。</p>
	10	<p>タワーは賛成です。三鷹駅を発展させてください。 ただ税金が上がらないようにして下さい。</p>	<p>三鷹駅北口は緑が多く広がりのある空間を持つという特徴を生かしつつ、三鷹駅周辺地区をにぎわいのある地区になるように指導していきます。</p>
	11	<p>三鷹北口の交通路整備をお願いします。 超高層マンション建築中は一体どうなるのか。心配である。</p>	<p>事業に伴い一部道路の拡幅を行い、歩車道の分離により安全対策を講じます。事業地以外の区間についても、現在事業を行っていますが、今回の民間事業に引き続き、さらに促進していきます。また、ガードマンの交通整理等により、安全確保を図るよう指導いたします。</p>

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
駅 周 辺 整 備	12	中町一丁目のツインタワー建設にかかわるが、平成17年市政モニター「武蔵野市の景観に関する調査」結果に対する市長の評価を聞きたい。	当該アンケートについては、景観の観点から市民の皆様にかがったもので、その結果から特定の敷地や事業計画に対し高さの規制を行おうというものではありません。皆様からいただいたご意見は、市のまちづくりに関する長期的な計画や施策を立案する際の参考にさせていただきます。
	13	ツインタワーを築造した場合に周辺住民は不安を抱いているが、市は説明を業者に丸投げするのではなく、責任を持って市民の不安を除去すべきで、念を入れた説明会を市の責任でやるべきであると考えがどうか。	市では15項目にわたるまちづくりに関する基本方針を示し、事業者を指導していますが、民間の開発事業であり、事業に関する説明は事業者が行うものと考えています。
	14	建物の高さ制限を至急してください。地下3階地上32階のビルが建つそうですが、日本は地震国、恐ろしいです。又ビル風も近隣の方たちは大変のことと思います。	今回の計画は免震構造となっています。また、通常の建築確認申請に加えて、国土交通大臣の認定が必要となりますので、現在、国内で最も厳しいチェックを受けることとなります。 風の影響については、風洞実験などの事前調査を実施し、風環境評価基準に基づき評価しており、建物の形状及び植樹による低減策を講じることにより、住宅地・市街地としての風環境を満たす計画となっています。
	15	中町一丁目の超高層マンション敷地内に残される保存樹は工事中に移植されると聞いていますが、市はどこに移植しどのように守られるのかを把握されているのでしょうか。市に問い合わせると事業者の決めることというスタンスでした。	工事中の移植先については、事業者が定めることですが、市でも積極的に状況把握に努めます。
ま ち づ く り	1	本町地域は新聞で商業地域となっていたがこれからの展望は。	吉祥寺本町一丁目は、現在、商業地域ですが、都内でも有数の商業地「吉祥寺」の中心街ですので、今後とも商業地域の用途地域を変更する予定はありません。
	2	中央線複々線工事完了後の中央線(吉祥寺・三鷹・武蔵境)に停車するのか通過するのか。	現在、中央線は連続立体交差事業で高架化の工事を進めています。高架化事業は、踏切等による交通渋滞の解消や鉄道で分断された地域の一体的なまちづくりを進めることを目的として行っているため、高架化事業による鉄道運行の大きな変化はありません。一方、複々線化事業は、輸送力の増強を図るためのもので、地下に計画されていますが、まだ事業の予定は未定です。また、停車駅についても未定です。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
まちづくり	3	①御殿山のJR宿舎跡地の開発計画について、現時点で武蔵野市としてわかっている情報がありましたら、教えてくださいませ。 ②武蔵野市としては、この地にどのようなものができるかとお思いになりますか？	当該地については、JR社宅の解体後に2階建てマンションの建築確認がおりますが、現在は土地所有者も変わっており、土地利用計画については把握しておりません。
	4	街づくりは、必ず市民にきいてほしい。行政と事業主だけで決めないで。	平成19年度における「まちづくり条例」制定に向けて、公募市民、学識経験者等をメンバーとした委員会で検討を行っています。その中で、まちの施設や居住環境あるいは活動環境の整備について、市民・開発事業者・市の三者が協働してまちづくりに取り組むための仕組みを検討しています。その主旨を鑑み、三者で協働して良好なまちづくりを進めていきます。
	5	・「まちづくり」なる言葉はなんとなく前から使用されてきたが、英訳するとどうなるか（英文パンフレットなどで定訳は？）「新設」ではなく「改良」「洗練」の意味にしかならないのでは？ ・タウンミーティングのチラシ文案が抽象的過ぎるので、もっと具体的に書いてほしい。 -4丁目住人 74歳	「まちづくり」とは、地域住民相互が協力しあい、市及び事業者との協働のもと、自らが住み生活する場を住みよい魅力あるものにしていく諸活動のことをいいます。そして、まちづくりの諸活動は、「ものづくり」「ルールづくり」「社会づくり」「地域づくり」「人づくり」など様々な活動と考えられます。それを英訳すると、city-planningやcommunity-planningとなるかと思いますが、どちらも日本語で表す「まちづくり」の一部分であるようです。チラシについては、市とコミュニティ協議会とで協議しながら、レイアウトや文言を決定しております。いただいたご意見を参考としながら、今後、改善すべき点は改善してまいります。
	6	中道通りと吉祥寺の容積率と建蔽率をぜひ増やしてほしい。なぜなら住みたい町上位にランクされているが、現状の容積・建蔽率ではなかなか3世帯がいっしょに住めず、家族がばらばらになってしまいます。せめて30～50%増やしていただければ年寄りが病気になるまでみんなで面倒を見ることができると考えます。その増加が無理ならカナダのように日本の国土の地下2階までの容積の不算入(容積の緩和)を特例として認めてほしい。吉祥寺を美しい町にしながら、3世帯と一緒に仲良く住める住環境、このためにカナダのような地下の容積不算入、よろしく。	中道通りの沿道の用途地域について、近隣商業地域では、容積率200%・建ぺい率80%であり、第一種中高層住居専用地域では、容積率200%・建ぺい率60%となっています。建築基準法により、避難安全性の観点から、前面道路の幅員によっては、容積率が更に制限される場合があり、該当地域においては、道路が狭いなどの状況により、この規定により容積率が使いきれない場合もあると考えられます。また、現行の建築基準法においても、住宅の場合は、地下の床面積が全体の床面積の合計の3分の1を超えない範囲においては、容積率に算入されない規定となっています。
自転車	1	自転車の通路が歩道とは別に取れば理想的だが、狭い町ではムリでしょう。自転車を利用する人のマナーを徹底してほしい。	昨年度、高校・大学生を中心とした「自転車安全利用促進検討委員会」を設置し、自転車走行ルールの周知やマナーの向上と、その対策等について提言を受けています。今後はその提言に基づき、安全利用講習会等の施策を、警察等関係機関とも連携し実施していきます。また、同時に自転車の走行環境も考えていくべきではないかと考えています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
自転車	2	交通事故発生防止のため、自転車走行のマナーの励行、自転車走行の一旦停止の励行について注意するよう取り締まってほしい。	自転車走行による交通事故防止のため、警察へ取り締まりの強化をお願いするとともに、自転車の安全利用促進のため、警察等関係機関と連携して、自転車走行ルールの周知やマナーの向上等の施策を実施していきます。
	3	学校(小学生)で自転車ルールを教育する(カリキュラムに入れる)保育園等で講習を義務付ける。 警官による注意の徹底!	小学校における、自転車ルールをはじめとする交通安全教育は現在も行っていますが、カリキュラム化については、今後も各小学校に要請していきます。さらに、保育園等の講習会についても、充実させていきたいと考えています。また、警官による注意喚起をより一層強化するよう、武蔵野警察署に要請します。
	4	吉祥寺だけに限られたことではありませんが、昨今、自転車利用者のマナーの悪さが目立ちます。車道走行をすると事故につながる可能性もあることから歩道も走行可にしたのが始まりだと思いますが、歩道を歩いている我々(人間)は自転車からの事故にはあいたくありません。狭い歩道及び人ごみの歩道では、降りて自転車と平行の歩きをルール付けてはいかがでしょうか。特にシニアの方が事故に…。	市内の歩道は、ほとんどが自転車通行可能となっています。しかし、歩道はあくまでも歩行者優先であり、ご指摘のとおり、歩行者に支障がある場合は、自転車は一旦停止することになっています。また、自転車は歩道の車道側を徐行することにもなっていますが、あまり守られていないのが現状です。市では今後、これらの自転車走行ルールの周知や、マナーについて警察等関係機関とも連携し、より一層の啓発等を行っていきます。
	5	吉祥寺駅周辺の駐輪場設置について <前提> ①このエリア内は自転車乗り入れを禁止又は手押し等にして、その周辺に十分な駐輪場を作る。 ②利用料を現状より安くし、また統一して、吉祥寺広域でどこでも買い物をしても例えば500円以上5時間無料等にする。 ③すぐ止められやすい工夫をして、だれでも止める気持ちになる駐輪場にする。 <その他> 現在の検討状況を考えてほしい。(HPで検索したが、あまりのっていないかった)	①現状では難しいと考えますが、貴重なご意見として、今後の研究課題といたします。 ②一部の大型店では、買い物客用駐輪場を設置しており、買い物をすると料金を優遇しております。公営駐輪場については、一時利用を1回100円としておりますが、商店会との連携については、今後研究していきます。 ③駐輪施設メーカーとも協力し、利用しやすい駐輪施設の設置に努めていきます。 <その他>三鷹駅は、駐輪場が不足しています。吉祥寺駅についても、約2000台程度不足しています。平置きだけの駐輪場は、効率が悪いこともあり、増設に向け、用地の確保に努めると共に、地下も含めた立体利用についても、考えていきます。
	6	提案1として 吉祥寺駅北口バス停上の”ひさし”上に通勤者用の駐輪場を設置。JRと共同開発。 提案2として 道交法に基づく自転車用標識の設置。道路上に自転車通路を明示する自転車の走る場所を判らせる走りやすい道路構造にする。	(提案1)ご意見として、伺っておきたいと思います。 (提案2)道路交通法・バリアフリー等の法令・基準を満たす道路については、自転車レーンの設置を促進いたします。また、法令・基準を満たさず、自転車レーン等の設置の難しい道路においては、自転車の走行場所をわかりやすくするような工夫をし、通行区分の明確化を図っていききたいと考えています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
自転車	7	<p>自転車置き場を増やし、放置自転車問題をよくしてほしい。最近も駅近くで車椅子が歩道を通れない、通れはしてもとても狭く、人の流れが滞ってしまう。中道入り口の自転車は病院搬入時にも問題がある。</p>	<p>吉祥寺駅周辺においては、放置防止指導員の配置や巡回を強化し、放置自転車への啓発や、撤去も今まで以上に行い、対応しています。放置されてしまった自転車については、整理を行い、歩行空間の確保等に努めています。しかし、放置防止指導員の不在時間では放置が急増し、苦慮していますが、今後も駐輪場の増設を進めるとともに、放置対策に努めていきます。</p>
	8	<p>自転車(放置)について 中道通りで仕事をしていますが、駅に近いエリアは放置自転車が多く買い物客も多いため、歩く人、自転車で通る人、車椅子の方、バギーの方が通りにくい状況です。よくぶつかっています。 緊急車両も通れないし、商店街の活性化のためにも通りにくい通り、となってしまうとマイナスになると思います。最近、朝整備の方が立ってくださっていますが、道端に並べるのではなく、他に駐輪場をふやしたり規制を強化し、人に優しく歩きやすい通りにしていただきたいと思います。 このエリアは商店と住宅がうまく一体されていると思います。活気のある商店街があり、住人が暮らしやすい街になると思います。仕事柄もありますが、ここに出店したい！ここに住みたい！と思われるエリアにしたいと思います。 中心部とは違う良さを生かしたいです。</p>	<p>中道通りにおける放置自転車対策は、放置防止指導員の配置や巡回を強化して、放置自転車への啓発や撤去を行っています。放置されてしまった自転車については、整理を行い、歩行空間の確保等に努めています。しかし、放置防止指導員の不在時間では、放置が急増し、苦慮しています。市では、今後も駐輪場の増設を進めるとともに、放置防止に努めていきます。</p>
	9	<p>藤村高校と背中合わせの西三条通りに住んでいますが、みずほ銀行の駐輪場が休日のみ自転車置き場に解放されるので、終日ギッシリと並び、すぐ前に地下に降りてゆく店が何軒もあり、車も頻繁に通るので歩行者には大変危険です。注意書きがあってもまったく関係なく、人の歩行する部分までいっぱいに置かれています。おざなりの注意書きではなく、もっと厳しく取り締まって下さい。</p>	<p>当該駐輪場利用者へは、入り口付近で待っているときなど、他の通行の支障とならないよう、更に注意を呼びかけていきます。また、付近の放置自転車に対しては、放置防止の啓発、撤去を定期的に行っていきます。</p>
	10	<p>大通りに面した駐輪場(例:末広通り…)にはもっと活力化する方策を考えていく必要がある。</p>	<p>駐輪場利用だけでなく、地元商店会等への活性化につながる施設の併用というご意見かと思いますが、多くの駐輪場不足による市民要望等を勘案しますと、できる限り、駐輪場の増設に努めていきたいと考えています。しかし、無電柱化に伴う電気施設の設置等、できることは協力していきたいと考えています。</p>

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
自転車	11	三鷹駅北口駐輪場を立体駐輪場にしてほしい。一時預かりも満車であることが多い。せめて屋根のある2階建てであれば、もっとたくさん駐輪できる。	確かに平置きですと、利用効率が悪いということがありますが、当該駐輪場については、公共施設としてどう利用するかということも含め、立体化について検討をしていきたいと考えています。
交通安全	1	商業地区が吉祥寺の魅力になるよう、交通、歩行者、ムーバス、自転車置き場をモデル都市になるほどの町づくりをしてほしい。	吉祥寺グランドデザインを踏まえて、交通体系の見直し等、実状やその計画に合わせて行っていきたいと考えています。また、道路の地下を利用した駐輪場等についても検討していきます。
	2	商業地区を中心に人、年配の方などが安全に歩けるよう、自動車の進入の制限を増やしてほしい。 中道通りや東急裏エリアを市のモデルケースで何とかできないだろうか。	自動車の進入制限は、交通規制として公安委員会の管轄であり、また、当該規制は、居住者車両・荷捌き車両等も制限を受けることから、生活や営業に支障をきたす方も多々出るかと思われます。このこともよく踏まえながら、所轄である武蔵野警察署と協議を行ってきたいと考えています。
道路	1	市長さんよろしくお願ひします！ ①成蹊大学グランドを横断する計画道路の早期開通をしてください。 ②地下道化の話が市のどこかの部署で検討されているなら周辺住民に開示してください。 ③仮設でも良いから人の通れる通路を作ってください。 ④五日市街道多摩線の交差点の混雑が減る。	成蹊学園とは地下化を含め、道路計画についての理解、協力を得るため粘り強く交渉していますが、案については今後詳細に調査検討を行う予定です。 通路については、現段階では、仮設でも学園内に設置することは困難であると考えます。 また、吉祥寺北町交差点については、東京都で「すいすいプラン(交差点改良事業)」として、渋滞の軽減や、歩行者の安全確保等を目的に、道路拡幅事業を進めています。
	2	店の品物や看板が歩道いっぱいに出張っている。取り締まってほしい。緊急車輛や歩行者の邪魔になる。	道路にはみ出した看板や商品の陳列、出入り用のブロックについては、機会あるごとに指導・啓発しています。今後も武蔵野警察署や商店街等と協力しながら一層の指導をしていきます。
	3	吉祥寺駅から東急に通じるダイヤ街等の「路上にはみ出している展示商品の撤去と禁止」を徹底してほしい。	
	4	道路に出入り用のブロックを置かないように指導して下さい。本町4丁目 大正通り・中道通り 道路に店の物を置かないように。	
	5	商店の歩道部分の占拠使用(商品・看板・ハタなど) 歩行者の安全！	

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
道路	6	狭隘道路が多い(4m未満) 建築計画時の指導だけでなく、積極的に壁の後退等をさせて。特に出入り口の住宅は2方向後退を！	狭あい道路の拡幅整備については、建築計画時のほか、ご協力をいただける場合には、路線改修に合わせて整備を進めています。今後とも一層の整備を図っていきます。
	7	成蹊大前の歩道橋は視察しているがあまり人は通らない。 信号が青になると成蹊の学生と一般の人と自転車でごちゃごちゃして、とても危ない。ないほうがよほど広がってすっきりするし、危険でないと思うが。	五日市街道及び成蹊大前の歩道橋については、東京都が管理しているため、ご意見を東京都にお伝えします。
	8	住宅街などにおいて、車の通りやすい道より人の歩きやすい路を。	住宅街における道路については、歩行者・居住者が安全で安心して通行できるよう、その地域の実情にあった「みちづくり」を進めていきます。
	9	本町2丁目(五日市通りから東急通りの間)道路の舗装完備と下水道の整備をしてほしい。又、この間の自動車の「ぬけ道」利用とスピード規制の方策を。(例えば路上面に凸の部分を作る等)	担当部署(道路課・下水道課)に、具体的に場所をご連絡いただければ、現地を調査し、必要な対応策を講じたいと考えています。 住宅密集地における道路への凸部設置は、凸部直近の住民の方が通過車両による振動・騒音の影響を受けることとなり、困難ですが、地域の実情にあわせて、抜け道対策等進めていきたいと考えています。
上下水道	1	集中豪雨対策は市民の生命、財産に影響ある重要課題 ・雨水放流幹線や分流式は金と時間がかかる。 ・地下貯留槽は現実性ある500㎡クラスのでは効果小。05年 北町の出水量1万トン貯留するクラスの地下槽を。	1万トン級の貯留が可能となる施設を設置するには、場所・時間・費用等の問題があります。1万トン級の貯留量を少しでも軽減させるため、また、下水道管渠への雨水の流入を少しでも少なくするため、今できる施策として、小中学校への貯留・浸透施設設置事業を行っています。
	2	集中豪雨対策 1万トン級の地下貯水槽を。	
	3	さらに魅力ある町作りのために、吉祥寺町中の下水がとてくさいです。清掃が大切です。	臭気の原因となっているのは、地下に設置してあるビルピット(汚水・雑排水を一時溜める施設)から公共下水道へ排水されたときに発生する臭いと考えられます。市では、ビルピットの所有者に対して、パンフレット等で適正な維持管理の啓発を行うとともに、定期的な管渠の清掃を今後とも行っていきます。

⑤行・財政

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
市民参加	1	武蔵野市自治基本条例を制定してください。	現在、調整計画策定委員会で議論をいただいているところです。
	2	地域の人々の輪を広げるタウンミーティングの企画は良いことと思います。是非住民の思いを少しでも形にして良い成果を出して下さい。	タウンミーティングでいただいたご意見については、市役所各課において、検討したうえで、対応方針を報告書の中で示しております。実現可能なものについては、順次、施策化していきたいと考えています。
	3	タウンミーティングの今のやり方を、もう一歩進化させる必要がある。	現在、各コミュニティ協議会との共催により実施しているタウンミーティングが一巡した後、テーマ別のタウンミーティングを開催していきたいと考えております。現在、開催方法や場所なども含めて、検討しております。
	4	市職員は、このような市民意見の会に（ニーズ探索）のために出来るだけ多く出席して勉強する必要がある。	タウンミーティングで出されたご意見については、その対応方針のとりまとめも含めて、報告書を作成しています。その作成の過程で担当の職員が関わっており、作成された報告書は各課に配布して担当外の職員にも周知をはかっています。
	5	市議会議員は、もっとこのような会に出席して勉強する必要がある。（最近甘くなっている人が多い）	市としましても、これまでと同様にタウンミーティングに限らず各種の会議や市政情報を提供していきたいと考えていますし、議員の皆さんには、これらの情報を大いに活用していただきたいと考えています。
	6	市民参加の方式をもっと市民自身の参画性を高めた方式に改める必要がある。（今は、市の職員が選んでいるので甘くなる。）	公募委員の参画については、今後も一層の推進をしていきます。公募委員を市民が決めるということについては、現在は考えていません。パートナーシップ協定を結んで行うなど、具体的なよい方法がありましたら、ご意見をいただきたいと考えています。
	7	市民協働サロンは今度市役所に来たが、吉祥寺地区にも是非設置する必要がある。	NPO・市民活動団体の活動支援を目的にしたサポートセンターについては、今後、武蔵境駅南口に建設する武蔵野プレイス(仮称)内に設置する予定であります。そこで、それまでの間、市民協働サロンがNPO・市民活動団体の活動支援全般を担当しますが、そのサポートセンターが設置された後は、市役所内に有る立地を生かし、市役所とNPO・市民活動団体との協働を推進するためのスペースとしていきます。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
健全な財政運営	1	固定資産税を減らしてください。	本市の固定資産税の税率は、地方税法に規定する標準税率「1.4%」を適用しています。法律上の制約から税率をさげることは困難で、全国でもこれを下回る税率を採用している自治体はありません。しかしながら、ご要望があることから、現在、固定資産税の軽減策について研究・検討をしています。基本的には、商業の活性化や防災安全推進の観点から、老朽化した家屋の建替え促進につながる軽減策を考えています。
	2	市の資源をもっと効率的・合理的に活用して、税金を少なく出来るくらいにして欲しい。	現在、市では、学識経験者と公募市民による委員会を設置して、事務事業と補助金について、その必要性や有効性などを検討し、見直し作業を進めるなど、税金を無駄なく有効に活用するよう努めています。
効率的な行政運営	1	長計策定のワーキングチームが策定した「武蔵野市用語解説集」は、どうせ作るなら市民委員会のときに作るべきだったと思う⇒作ったら各コミセンに配布するべきだ。	今回の策定方式は市民会議という新たなシステムを取り入れたため、時間的余裕等がなく、失礼いたしました。次回開催時には準備に時間をかけて、皆様に分かりやすく、またご満足いただけるようなシステムを工夫していきたいと考えています。
	2	分権化一括法をもっと積極的に推進して欲しい。 ”オーフス条約”のような環境への積極的な取り組み(新制度)を望む。	地方分権一括法により広がった権限と責任の中で、住民の福祉の向上に努めていきます。 オーフス条約については、批准されていないため国内では効力を持っていませんが、市としては、環境政策への市民参画、幅広い情報提供に努めていきます。 ※オーフス条約 環境に関する情報へのアクセス、政策決定過程への参加、司法へのアクセスの3つの権利について、各国内で制度化し、保障することにより、環境分野における市民参加を促進させることを目的とした条約。
	3	市は、「特区制度」をもっと勉強して、種々申請するくらいの活力が欲しい。	「特区制度」など新たな手法については、今後も研究を進め、具体的な必要性があれば検討いたします。
	4	最近の市職員は、考え方や行動に甘さが見えてきた。もっと自発性をもって種々、提案して欲しい。	職員の「甘さ」について、具体的なご指摘を受けて対応を考えていくとともに、職員が提案を含めて自発的に考え、行動するような人材育成に取り組んでいきます。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
効率的な行政運営	5	「市報」のシルバー人材配布でコストや手続きが増えるのはばかげています。もっとコミセンを活用してコスト減を図るべきである。	今年度の4/15号市報からシルバー人材センターに委託しての全戸配布を行なっています。これは、①新聞を読む方が減少していること、②市民意識調査で、市政情報を市報から入手する市民が6割超あり、新聞の購読の有無にかかわらず、市報が公平に届く方策を検討してきたこと、③法により自治体には高齢者の就業機会の確保が求められていて、近隣の三鷹・小金井・西東京をはじめ都下12市が同センターに委託し市報の全戸配布を行っていることから、実施することになりました。 経費は、全戸配布による配布部数の増加やそれに伴う印刷部数の増加などにより、前年度に比べ増えます。しかし、全戸配布により、市の基礎的情報が市民の皆さんに行き渡ることと、月2回、腕章と名札をつけたシルバー人材センターの会員が地域を回ることで、安全面への寄与といったメリットもありますので、ご理解くださいますようお願いいたします。 また、コミュニティセンターには、地域の拠点としてまた市の施設として来館者などへの市報配布を引き続きお願いします。
	6	市政策としてフィフティフィフティ制度を導入すべきである。(議会でも提案されたようだが…)	フィフティフィフティ制度については、先進自治体の動向等について研究を進めています。今後は、他の誘導制度も含めて検討を行います。 ※フィフティフィフティ制度…省エネ活動で節減できた高熱水費の一定割合を次年度予算などに加算できる制度。
その他	1	武蔵野からの平和政策をすすめてください！	本市には、戦前、軍需工場である中島飛行機武蔵製作所があったことから、多くの空襲により戦災を受けましたが、本市が歩んできた歴史の中で、軍需都市から平和都市に生まれ変わり、発展してきたことを評価し、平和に向けて発信を続けていくことが必要であると考えております。 今年、武蔵野市議会が昭和57年に「非核都市宣言」を採択してから25年という節目の年にあたるため、地域・平和団体の代表と公募市民で構成する実行委員会を設置して、記念事業を実施いたします。8月には、その事業の一つとして、広島・長崎に落とされた原爆の惨状や中島飛行機武蔵製作所への空襲などに関する写真パネル展などを開催しました。
	2	旧図書館跡地にメモリアルホールを！！	旧中央図書館の活用については、今後調整計画の議論の過程を経て、研究を進めていきます。現在は、葬儀等は公的施設としてはコミュニティセンターの利用をお願いしているところです。

主役は市民です

タウンミーティングは、市民の皆様と市長が地域の課題や市政について意見を交換する会です。

お気軽にご参加いただき、あなたの声をお聞かせください。

●期日 平成19年7月3日(火)

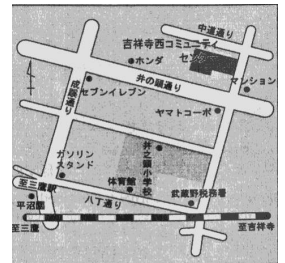
●時間 午後6時30分から9時

●会場 吉祥寺西

コミュニティセンター

武蔵野市吉祥寺本町3-20-17

電話 0422-55-3297



- ◆内 容 会の前半は、「吉祥寺西地区（吉祥寺本町2・3・4丁目）のまちづくり」をテーマに、後半は市政全般について話し合います。
- ◆出席者 市民の皆様（どなたでも）、邑上守正市長
吉祥寺西コミュニティ協議会、市関連部長
- ◆申 込 当日、直接会場へお越しください。
- ◆主 催 武蔵野市・吉祥寺西コミュニティ協議会（共催）

*お車でのご来場はご遠慮ください。

*タウンミーティングは議会開催月（3、6、9、12月）を除く毎月、年8回、市内各コミュニティセンターで開催する予定です。

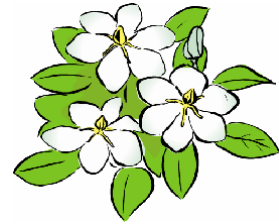
市民と市長のタウンミーティング

平成19年7月3日(火) 18:30~21:00 吉祥寺西コミセンにて

みんなでつくろう 住民・商店一体のまち 吉祥寺西地区

安心・安全なまちづくり

- * 災害時のネットワークづくり (要援護者)
- * 緊急車両が通れる道に
- * 防犯カメラの設置
- * 成蹊大学正門前交差点を安全地帯に



各世代の居場所づくり (ふれあい・学び・生きがい)

- * 幼児・児童・中高生・高齢者の居場所と世代間交流
- * 学童クラブを学校内に
- * 0123を地域内に→そして未就学児童にも開放
- * 泉幼稚園跡地利用

グレードアップしたまちづくり (風格あるまち吉祥寺)

- * 自転車置き場を拡充して活気に満ちた商店街
- * ベンチを街中にトイレを公園に増設し誰もが楽しくまち歩き
- * 容積率緩和で3世代同居を可能に
- * 住民・商店一体で吉祥寺をさらによいまちに

当日参加できない方で、市長にご意見・ご要望のある方は、
下記にご記入の上、吉祥寺西コミュニティセンターに事前
お届けいただくか、FAXでお送り下さい



第13回

市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成19年 9月

武蔵野市企画政策室市民協働推進課

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)